

4

室内装備品の使いかた

エアコン

吹き出し口の調整	4-2
吹き出し口表示と使用目的	4-3
マニュアルエアコン	4-5
フルオートエアコン（シングルタイプ）	4-9
フルオートエアコン（左右独立タイプ）	4-17

オーディオシステム

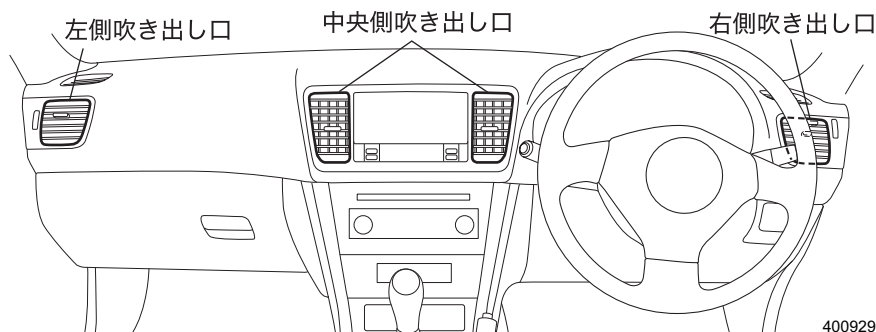
あらかじめ知っておいていただきたいこと	4-25
タイプA：AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー	4-32
タイプB：AM/FMマルチ電子チューナー・ インダッシュ6CD/MDプレーヤー	4-38
タイプC：マッキントッシュAM/FMマルチ電子チューナー・ インダッシュ6CD/MDプレーヤー	4-54
オーディオリモートコントロールスイッチ	4-72
後席用オーディオコントロールスイッチ	4-74

室内装備

カップホルダー	4-77
サンバイザー	4-79
小物入れ	4-80
サブトランク（ワゴン）	4-83
サブトランク（セダン）	4-84
トノカバー（ワゴン）	4-85
リヤマット	4-89
電源ソケット	4-90
カーゴファン（ワゴン）	4-92
コートフック	4-93
カーゴフック（ワゴン）	4-94
ハンガーフック（ワゴン）	4-94
買い物フック	4-95
室内の照明	4-96
時計	4-99
インフォメーションメーター	4-100

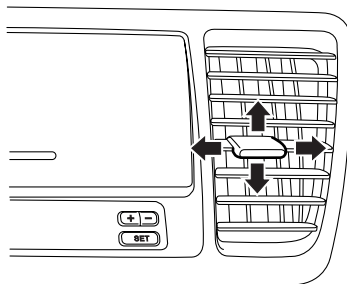
エアコン

吹き出し口の調整



●中央吹き出し口

吹き出し口のノブを上下左右に動かして風向きを調整します。

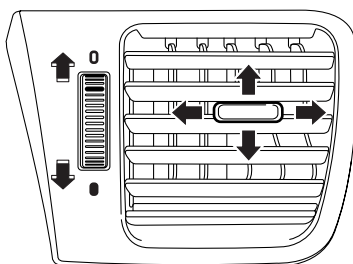


●左右吹き出し口

吹き出し口のノブを上下左右に動かして風向きを調整します。
ダイヤルを上下に動かして吹き出し口を開閉します。

○：全開

●：全閉



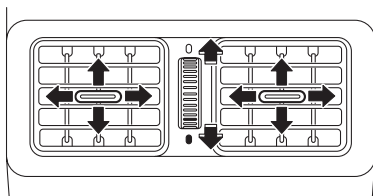
●後席用吹き出し口

吹き出し口のノブを左右に、また、吹き出し口全体を上下に動かして風向きを調整します。

ダイヤルを上下に動かして吹き出し口を開閉します。

0: 全開

●: 全閉



400690

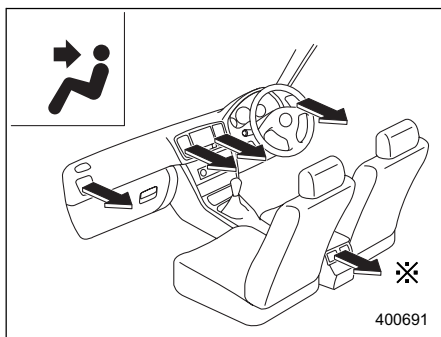
吹き出し口表示と使用目的

使用目的に合わせて吹き出し口を選択してください。

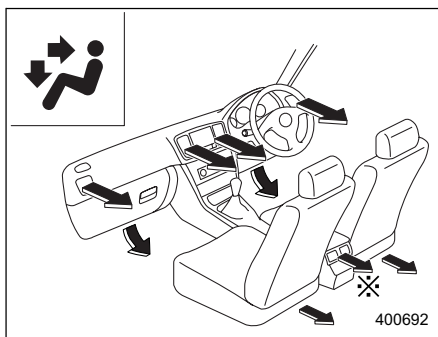
左右の吹き出し口からは、常時送風します。

送風を止めるときは、左右の吹き出し口のダイヤルを動かして吹き出し口を閉じてください。

●上半身に送風したいとき



●上半身と足元に送風したいとき



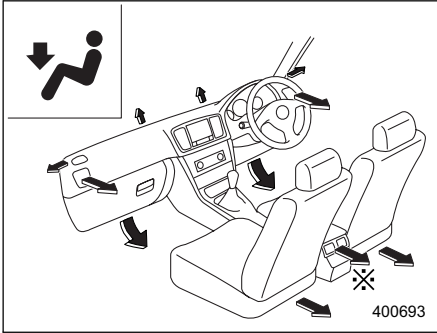
室内
装
備
品
の
使
い
か
た

次ページへ ⇒

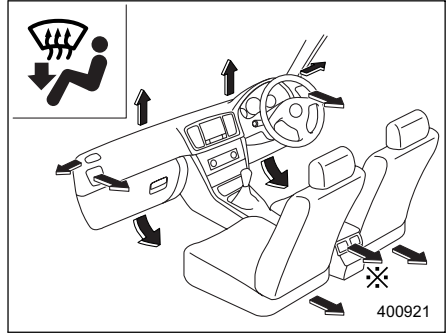
エアコン

⇒前ページより

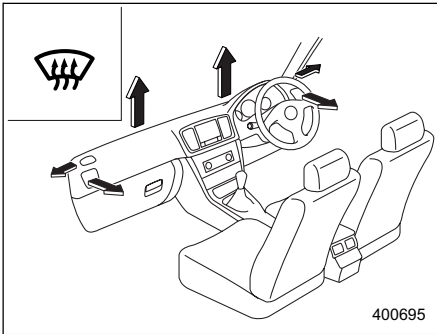
●足元に送風したいとき



●足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき

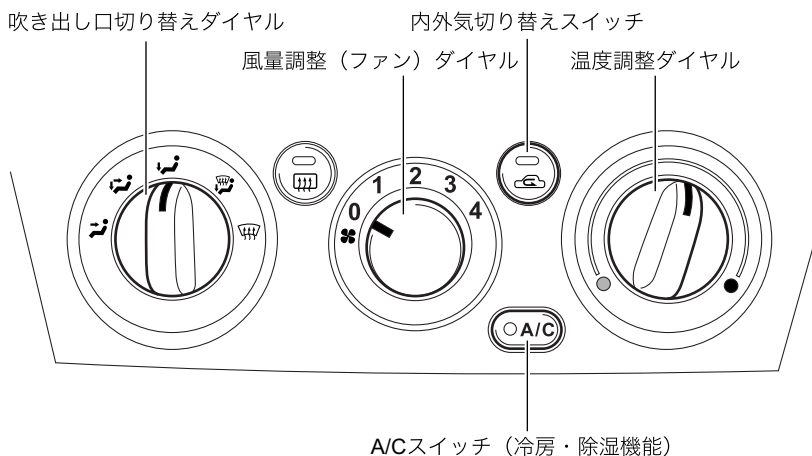


●窓ガラスの曇りを取りたいとき



※グレードにより後席用吹き出し口が装備されます。

マニュアルエアコン



400922

■ エアコンの使いかた

エンジンをかけているとき、風量調整（ファン）ダイヤルを「0」以外の位置にすると作動します。冷房・除湿をするときは、さらにA/Cスイッチを押します。風量調整（ファン）ダイヤルを「0」にすると止まります。

アドバイス

- エンジンがかかっているときにスイッチを操作してください。
- 冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見ることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。
- 停車中の冷房効果を上げるため、アイドリング回転が高くなります。オートマチック車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキを確実に踏んでください。
- 炎天下に駐車したときには、冷房を使う前にウィンドウを全開にするなどして熱気を追い出してください。

次ページへ ⇒



⇒前ページより

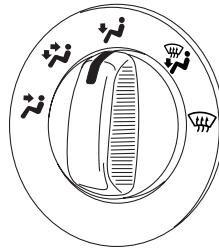
- 室内のにおいが気になるときには消臭剤を使って消してください。空気が汚れているときや、タバコを吸うときは換気してください。ほこりやタバコの煙が冷房装置に付いて、におうことがあります。
- 冷房中は乾燥ぎみになり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。目が痛くなったときは外気を導入してください。
- 体が冷え過ぎないように適度に温度を調整してください。冷え過ぎは健康を損ないます。
- 冷房・除湿機能は各部を潤滑するためにも月に2、3回程度作動させてください。
- 冷えない場合、冷媒不足も考えられます。お近くのスバル販売店で点検を受けてください。
- 次の場合、冷房・除湿機能は作動しません。
 - － 室内の温度が低いとき
 - － 外気温度が低いとき (0℃以下のとき)

■操作パネルの使いかた

●吹き出し口切り替えダイヤル

使用目的に合わせて吹き出し口を切り替えます。

内気循環時でも、ダイヤルをあるいはにしたときは、効果的に曇りを取るため、自動で除湿機能 (A/Cスイッチ) が作動し、外気導入に切り替わります。

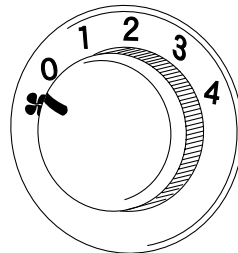


400183

●風量調整 (ファン) ダイヤル

風量を4段階に調整できます。

数字が大きくなるほど強くなります。

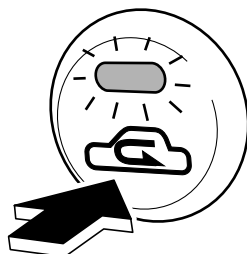


400184

●内外気切り替えスイッチ

一時的に外気を遮断したい場合に使います。スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が交互に切り替わります。

早く冷房したいとき、または冷房の効きを高めたいときには、内気循環をお使いください。表示灯が点灯しているときに内気循環です。



400185

⚠ 注意

内気循環は必要なときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと、万一、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂が生じた場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、ガラスが曇りやすくなりますので、内気循環で使用する場合は、A/Cスイッチを押して除湿機能を働かせて使用してください。

●温度調整ダイヤル

送風温度を調整します。

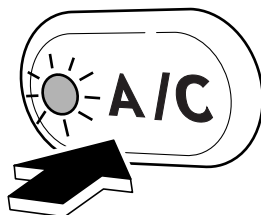
温度を上げるときは右へ、下げるときは左へ回します。



400186


●A/Cスイッチ



風量調整（ファン）ダイヤルが「0」以外のとき、スイッチを押すと冷房・除湿機能が作動し、スイッチ内のランプが点灯します。もう一度押すと冷房・除湿機能は停止します。



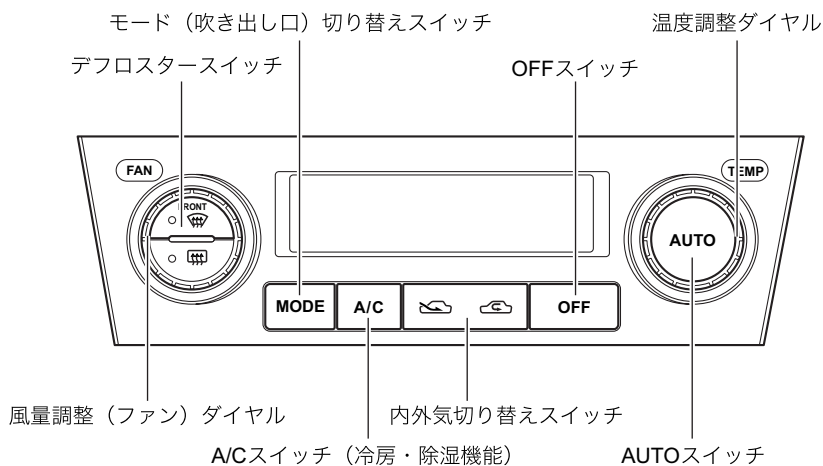
400187

■エアコンの使いかた

スイッチ	吹き出し口切り替え	風量調整	A/Cスイッチ	温度調整	内外気切り替え	アドバイス
冷房		希望位置	ON	希望位置 (中間より左側)	外気導入	<ul style="list-style-type: none"> 早く冷やしたいときは、内外気切り替えを内気循環にしてください。 冷房の効きを高めたいときは、内気循環をお使いください。
暖房		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間より右側)	外気導入	<ul style="list-style-type: none"> ウィンドウにも少し送風されますが、これはウィンドウの曇りを防止するためのものです。 顔部が熱い場合は、温度調整ダイヤルを左側に動かし、適温に調整してください。
曇り除去と暖房		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)	外気導入	<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルの位置によっては曇り除去機能が低下する場合があります。
頭寒足熱		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)	外気導入	<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルを右または左いっぱいにするとう頭寒足熱にはなりません。冷風または温風のための吹き出しになります。
曇り除去		希望位置	ON	中間より右側	外気導入	<ul style="list-style-type: none"> 夏期においてウィンドウの曇りを除去する場合、温度調整は中間より左側でご使用ください。また、外気温度と吹き出し風の温度差が大きいと、ウィンドウの外側が曇る場合があります。このときは冷房機能を「OFF」にするか、温度調整ダイヤルを右に動かしてください。
換気		希望位置	OFF	希望位置	外気導入	—

注) 吹き出し口切り替えダイヤルをあるいはにすると、効果的に曇りを取るため、自動で除湿機能 (A/Cスイッチ) がONになり、外気導入に切り替わります。

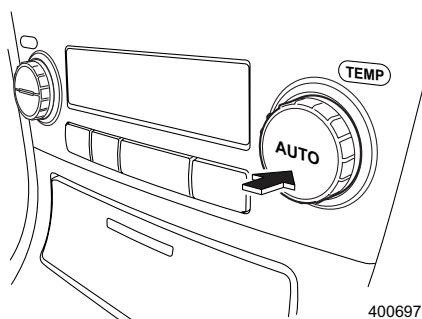
フルオートエアコン（シングルタイプ）※



400923

■フルオートでの使いかた

エンジンをかけているとき、AUTO スイッチを押して温度調整ダイヤルで希望温度に設定します。各機能を自動的にコントロールし、オールシーズンにおいて室内を快適に保ちます。作動状態が表示部および各スイッチの作動表示灯により表示されます。



400697

室内
装
備
品
の
使
い
か
た

アドバイス

- エンジンがかかっているときにスイッチを操作してください。
- 冬季などでエンジンが冷えているときは、しばらくの間、デフロスター吹き出しモードになり、ファンは低速回転で作動します。
- オート作動中は、気温に応じて冷房・除湿機能が自動的に停止します。気温が低いときの曇り取りや除湿効果を高めたいときは、A/Cスイッチを押してください。
- 設定温度を下げると、冷房・除湿機能は自動的に作動し、A/C表示します。
- 次の場合、冷房・除湿機能は作動しません。
 - － 室内の温度が低いとき
 - － 外気温度が低いとき (0℃以下のとき)
- 冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見えることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。
- エンジンスイッチをOFFにしてエアコンを止めた場合、再始動時は止める直前の状態に戻ります。
- 停車中の冷房効果を上げるため、アイドリング回転が高くなります。オートマチック車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキを確実に踏んでください。
- 炎天下に駐車したときには、冷房を使う前にウィンドウを全開にするなどして熱気を追い出してください。
- 室内のにおいが気になるときには消臭剤を使って消してください。空気が汚れているときや、タバコを吸うときは換気してください。ほこりやタバコの煙が冷房装置について、におうことがあります。
- 冷房中は乾燥ぎみとなり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。目が痛くなったときは外気を導入してください。
- 体が冷え過ぎないように適度に温度を調整してください。冷え過ぎは健康を損ないます。設定温度25℃付近でお使いください。
- 冷房・除湿機能は各部を潤滑するためにも月に2、3回程度作動させてください。
- 冷えない場合、冷媒不足も考えられます。お近くのスバル販売店で点検を受けてください。

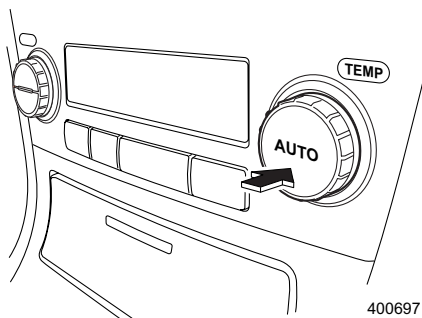
■ 手動選択で使うとき (マニュアル)

オート作動中、各スイッチ (温度調整ダイヤル、OFF スイッチを除く) のいずれかを押しと、押したスイッチの機能のみ固定され、他の機能は自動コントロールされます。このとき表示部のAUTOが消えます。手動選択を解除するときはAUTOスイッチを押します。

■各スイッチの機能

●AUTOスイッチ

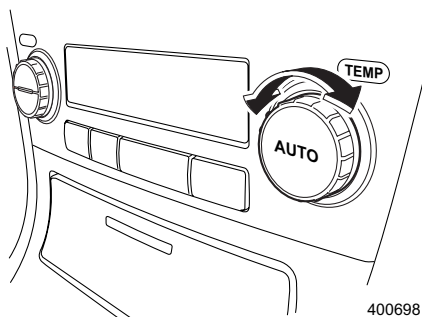
オート機能を使うときに押します。
設定温度に応じて、吹き出し口切り替えやファン風量、冷房・除湿機能の作動、内外気切り替えなどを全て自動制御します。



400697

●温度調整ダイヤル

室内温度を調整するとき使います。
0.5°Cごとに変化します。
温度設定は 18.0 ~ 32.0 °C の範囲で変更できます。ただし、18.0°C または 32.0°C を設定したときは最大冷房または最大暖房となります。



400698



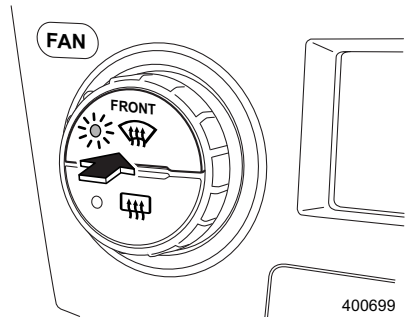
アドバイス

- 急速冷暖房をしたいときでも、設定温度を変える必要はありません。設定温度になるまで自動的に急速冷暖房されます。
- 設定温度は記憶されています。ただし、バッテリーの接続を外したときは 25.0°C にセットされます。

●デフロスタースイッチ



フロントガラス、サイドガラスの曇りや霜を取るときに使います。スイッチを押すと効果的に曇りを取るために、自動的に外気導入、除湿機能作動、デフロスター吹き出しにセットされます。

デフロスタースイッチをもう一度押すと、デフロスター作動前の状態に戻ります。

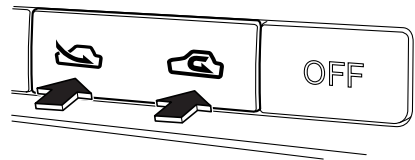


●内外気切り替えスイッチ

一時的に外気を遮断したい場合に使います。

を押すと内気循環になり、を押すと外気導入になります。

早く冷房したいとき、または冷房の効きを高めたいときには、内気循環をお使いください。



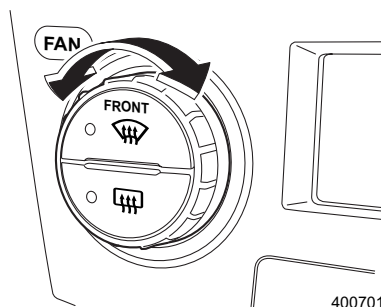
⚠ 注意

内気循環は必要なときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと万一、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂が生じた場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

また、ガラスが曇りやすくなりますので、内気循環で使用する場合は、A/Cスイッチを押して除湿機能を働かせて使用してください。

●風量調整（ファン）ダイヤル

風量を調整し固定するときに使います。右に回すと風量が増し、左に回すと風量が減ります。

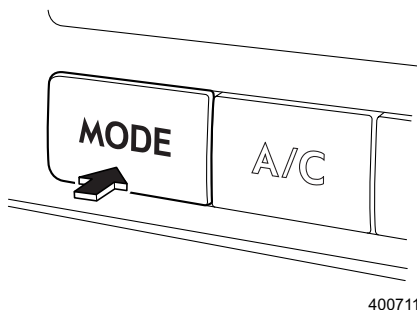


●モード（吹き出し口）切り替えスイッチ


吹き出し口を固定するときに使います。

スイッチを押すごとに切り替わります。

☆4-3ページ参照






アドバイス

吹き出し口を （デフロスター）にするときは、デフロスタースイッチを押してください。

☆4-12ページ参照

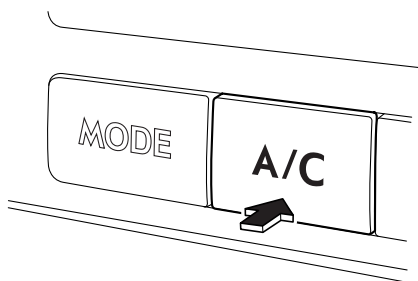


アドバイス

- 降雪時はフロントガラスの氷結を防止するため  で走行することをお奨めします。
-  を選択すると自動的に外気導入、除湿機能ONになります。
-  を選択時、顔が熱い場合は、温度調整ダイヤルを回し、適温になるよう調整してください。

●A/Cスイッチ

冷房・除湿機能の作動をONまたはOFFに固定するときに使います。スイッチを押すごとにON⇔OFFが交互に切り替わります。暖房時でもウインドウの曇りを取る場合や、除湿効果を高めたいときに使います。



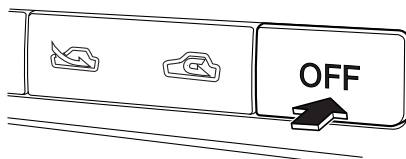
400712

アドバイス

- 冷房・除湿機能はファンが作動していないときにスイッチを押しても作動しません。
- 気温が0℃以下のときは冷房・除湿機能は作動しません。

■停止するとき

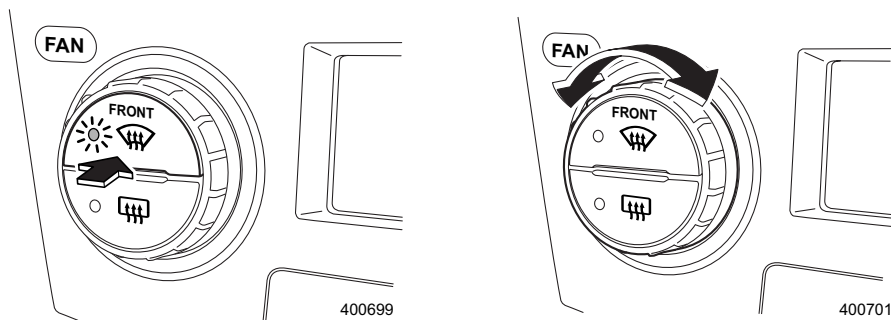
エアコン使用中、OFF スイッチを押すとエアコンは止まります。このとき内外気切り替えは自動的に外気導入になります。



400704

■OFF状態からの使いかた

- デフロスタースイッチを押す、または風量調整ダイヤルを回すとエアコンが作動します。この場合、押したスイッチと手動選択した機能が固定され、他の機能は自動制御されます。オート作動にするときはAUTOスイッチを押します。



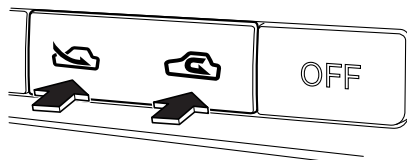
- モード切り替えスイッチを押すとファン、冷房・除湿機能を作動させずに走行風だけの空調ができます。オート作動にするときはAUTOスイッチを押します。



アドバイス

走行風による空調では、室内を外気温度より低くすることはできません。

- 内外気切り替えスイッチの を押すと内気循環になります。 を押すと外気導入に切り替わります。

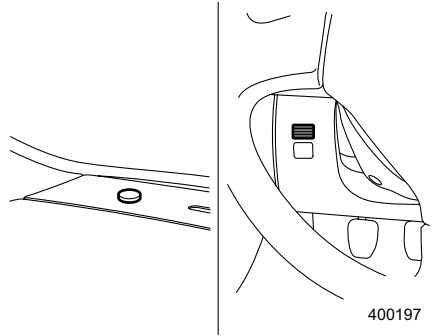


400980

■感知センサー

オートエアコンには次のセンサーが付いています。

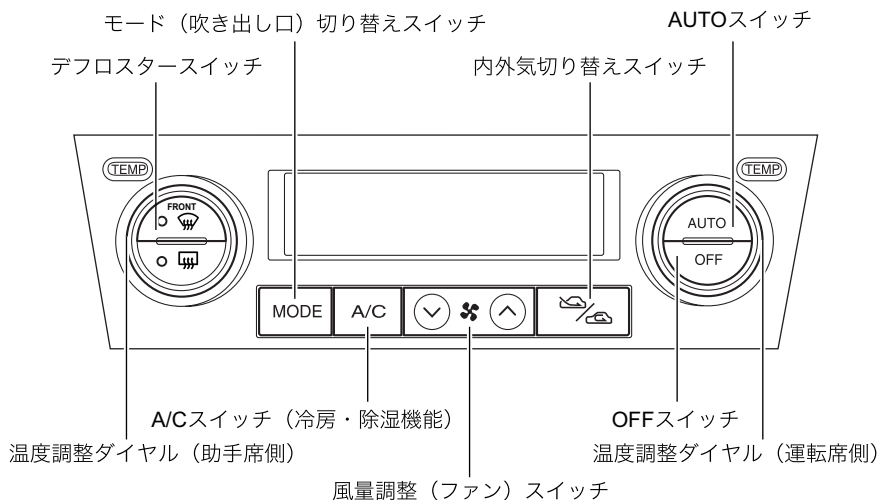
- 日射センサー（計器盤の左端）
- 室内温度感知センサー（運転席口アカバー左側）
- 外気温度センサー（フロントバンパー裏側）



注意

センサーに衝撃を与えたり、水をかけたり、物を置いたりしないでください。
温度制御にずれが発生する原因となります。

フルオートエアコン（左右独立タイプ）※

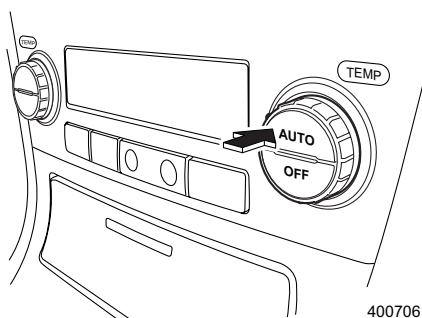


400924

フルオートエアコン（左右独立タイプ）は、吹き出し口の設定温度を運転席側と助手席側で別々に設定することができます。

■フルオートでの使いかた

エンジンをかけているとき、AUTO スイッチを押します。左右にある温度調整ダイヤルで、助手席側と運転席側それぞれの希望温度を設定します。各機能を自動的にコントロールし、オールシーズンにおいて室内を快適に保ちます。作動状態が表示部および各スイッチの作動表示灯により表示されます。



400706

アドバイス

- エンジンがかかっているときにスイッチを操作してください。
- 冬季などでエンジンが冷えているときは、しばらくの間、デフロスター吹き出しモードになり、ファンは低速回転で作動します。
- オート作動中は、気温に応じて冷房・除湿機能が自動的に停止します。気温が低いときの曇り取りや除湿効果を高めたいときは、A/Cスイッチを押してください。
- 設定温度を下げていくと、冷房・除湿機能は自動的に作動し、A/C表示します。
- 次の場合、冷房・除湿機能は作動しません。
 - － 室内の温度が低いとき
 - － 外気温度が低いとき (0 °C以下のとき)
- 冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見えることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。
- エンジンスイッチをOFFにしてエアコンを止めた場合、再始動時は止める直前の状態に戻ります。
- 停車中の冷房効果を上げるため、アイドリング回転が高くなります。オートマチック車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキを確実に踏んでください。
- 炎天下に駐車したときには、冷房を使う前にウインドゥを全開にするなどして熱気を追い出してください。
- 室内のにおいが気になるときには消臭剤を使って消してください。空気が汚れているときや、タバコを吸うときは換気してください。ほこりやタバコの煙が冷房装置について、におうことがあります。
- 冷房中は乾燥ぎみとなり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。目が痛くなったときは外気を導入してください。
- 体が冷え過ぎないように適度に温度を調整してください。冷え過ぎは健康を損ないます。設定温度25°C付近でお使いください。
- 冷房・除湿機能は各部を潤滑するためにも月に2、3回程度作動させてください。
- 冷えない場合、冷媒不足も考えられます。お近くのスバル販売店で点検を受けてください。

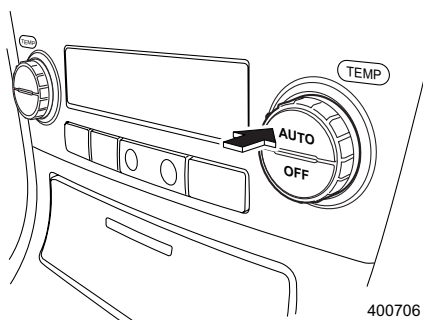
■ 手動選択で使うとき (マニュアル)

オート作動中、各スイッチ (温度調整ダイヤル、OFF スイッチを除く) のいずれかを押しすと、押したスイッチの機能のみ固定され、他の機能は自動コントロールされます。このとき表示部のAUTOが消えます。手動選択を解除するときはAUTOスイッチを押します。

■各スイッチの機能

●AUTOスイッチ

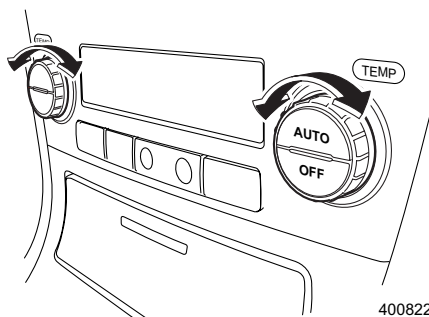
オート機能を使うときに押します。
設定温度に応じて、吹き出し口切り替えやファン風量、冷房・除湿機能の作動、内外気切り替えなどを全て自動制御します。



400706

●温度調整ダイヤル

室内温度を調整するとき使います。
0.5°Cごとに変化します。
温度設定は 18.0 ~ 32.0 °C の範囲で変更できます。ただし、18.0°C または 32.0°C を設定したときは最大冷房または最大暖房となります。
また、温度は、運転席側と助手席側を別々に設定することができます。



400822

表示部には、運転席側、助手席側それぞれの設定温度が表示されます。

- (a) 運転席側設定温度
- (b) 助手席側設定温度



400703

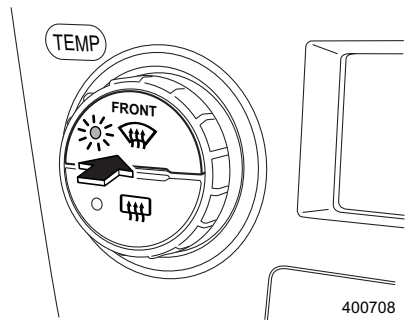
アドバイス

- 急速冷暖房をしたいときでも、設定温度を変える必要はありません。設定温度になるまで自動的に急速冷暖房されます。
- 設定温度は記憶されています。ただし、バッテリーの接続を外したときは25.0°Cにセットされます。

●デフロスタースイッチ

フロントガラス、サイドガラスの曇りや霜を取るときに使います。スイッチを押すと効果的に曇りを取るために、自動的に外気導入、除湿機能作動、デフロスター吹き出しにセットされます。


デフロスタースイッチをもう一度押すと、デフロスター作動前の状態に戻ります。




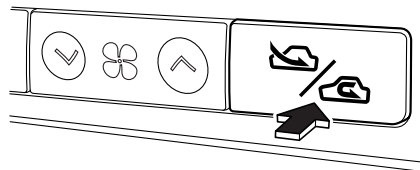
●内外気切り替えスイッチ

一時的に外気を遮断したい場合に使います。スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が交互に切り替わります。

早く冷房したいとき、または冷房の効きを高めたいときには、内気循環をお使いください。

: 外気導入

: 内気循環

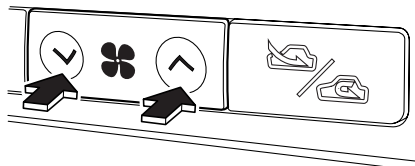


注意

内気循環は必要ときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと、万一、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂が生じた場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、ガラスが曇りやすくなりますので、内気循環で使用する場合は、A/Cスイッチを押して除湿機能を動かして使用してください。

●風量調整（ファン）スイッチ

風量を調整し固定するときに使います。△を押すと風量が増し、▽を押すと風量が減ります。



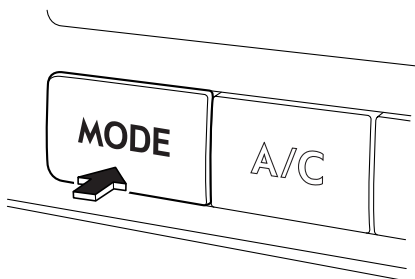
400710

●モード（吹き出し口）切り替えスイッチ

吹き出し口を固定するときに使います。

スイッチを押すごとに切り替わります。


☆4-3ページ参照



400711






アドバイス

吹き出し口を  (デフロスター) にするときは、デフロスタースイッチを押してください。

☆4-20ページ参照

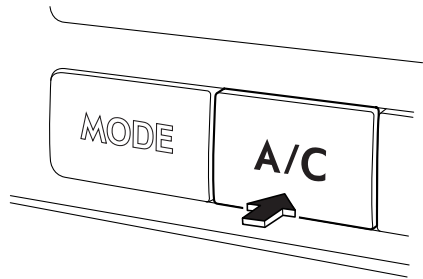


アドバイス

- 降雪時はフロントガラスの氷結を防止するため  で走行することをお奨めします。
-  を選択すると自動的に外気導入、除湿機能ONになります。
-  を選択時、顔が熱い場合は、温度調整ダイヤルを回し、適温になるよう調整してください。

●A/Cスイッチ

冷房・除湿機能の作動をONまたはOFFに固定するときに使います。スイッチを押すごとにON⇔OFFが交互に切り替わります。暖房時でもウインドウの曇りを取る場合や、除湿効果を高めたいときに使います。



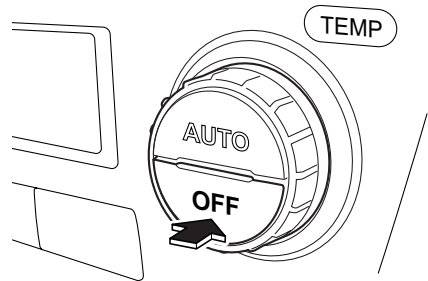
400712

アドバイス

- 冷房・除湿機能はファンが作動していないときにスイッチを押しても作動しません。
- 気温が0℃以下のときは冷房・除湿機能は作動しません。

■停止するとき

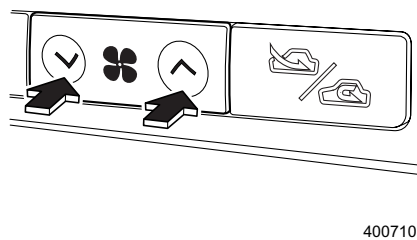
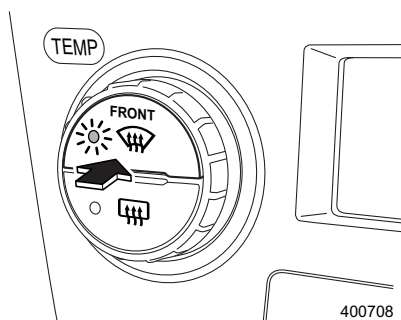
エアコン使用中、OFF スイッチを押すとエアコンは止まります。このとき内外気切り替えは自動的に外気導入になります。



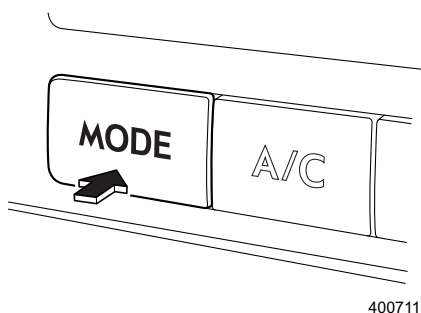
400713

■OFF状態からの使いかた

- デフロスタースイッチまたはファンスイッチを押すとエアコンが作動します。
この場合、押したスイッチと手動選択した機能が固定され、他の機能は自動制御されます。オート作動にするときはAUTOスイッチを押します。



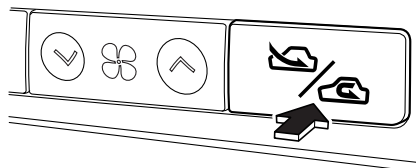
- モード切り替えスイッチを押すとファン、冷房・除湿機能を作動させずに走行風だけの空調ができます。オート作動にするときはAUTOスイッチを押します。



アドバイス

走行風による空調では、室内を外気温度より低くすることはできません。

- 内外気切り替えスイッチを押すと内気循環になります。さらにスイッチを押すごとに内気循環と外気導入が交互に切り替わります。

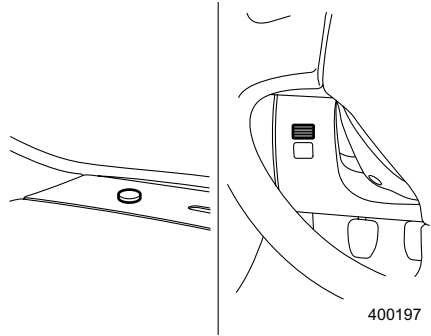


400709

■ 感知センサー

オートエアコンには次のセンサーが付いています。

- 日射センサー（計器盤の左端）
- 室内温度感知センサー（運転席口アカバー左側）
- 外気温度センサー（フロントバンパー裏側）



注意

センサーに衝撃を与えたり、水をかけたり、物を置いたりしないでください。
温度制御にずれが発生する原因となります。

オーディオシステム

あらかじめ知っておいていただきたいこと

注意

- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞いてください。車外の音が聞こえない状態で運転すると危険です。
- 運転者は車が止まっているときにラジオ・オーディオを操作してください。
- 内部に水や異物を入れないでください。故障の原因となります。
- お子さまがディスク挿入口に指を入れないようにしてください。けがの原因となるおそれがあります。

■ ラジオ受信について

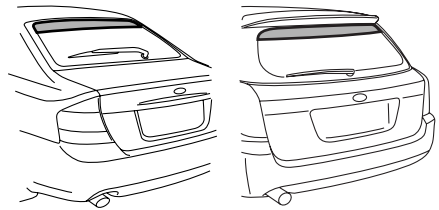
- 受信感度は周囲の状況、気象状況、送信局からの電波の強さ、送信局からの距離によって影響を受けます。山ろくや建物の近くでは電波がさえぎられたり、電波が反響したりして受信状態が悪くなることがあります。また、電車の架線や高圧電線の近くでは高圧電流の影響でノイズ（雑音）が入ったりするなど受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオを聞いているとき、室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うとノイズ（雑音）が入ることがあります。

■ アンテナについて

アンテナは、リヤウインドウの内側にプリントされています。

ナビゲーションシステム付車の場合、ワゴンにはリヤクォーター左右のウインドウに、セダンはリヤウインドウにアナログTV受信アンテナ線がプリントされています。

アナログTV受信アンテナアンプおよびフィーダー線を追加することにより、ダイバーシティアンテナとして、アナログTV放送の受信が可能になります。詳しくはスバル販売店にご相談ください。



400198

アドバイス

- リヤウィンドウ内側を清掃するときは、アンテナ線に沿って柔らかい布で拭いてください。硬い布で拭くとアンテナ線を傷つけることがあります。
- リヤウィンドウのアンテナ線部に次の物を貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）が入るおそれがあります。
 - － 金属を含有するウィンドウフィルム
 - － 外付けTVアンテナ
 - － その他の金属物

■CDについて

- 右図のマークがついている音楽 CD を使ってください。右図のマークがないものは使えません。
- 大きい傷、変形、ひびなどのあるディスクやハート型などの特殊形状をした CD は使用しないでください。誤作動や故障の原因となる場合があります。
- 寒いときや雨天のときは、プレーヤー内に露が生じ、正常に作動しないことがあります。この場合CDを取り出し、しばらく待ってから再度CDを挿入してください。
- 炎天下に長時間駐車した後などはプレーヤーの温度が高くなり、正常に作動しないことがあります。温度が下がるまでしばらく待ってください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びすることがあります。
- ケースからディスクを取り出す場合、ケース中心部を押し、ディスクの両端を持ってください。また、ディスク面に直接触れると音が悪くなる場合がありますので、手を触れないようにしてください。
- ディスクは熱に弱いので直射日光の当たる場所やヒーター吹き出し口などの近くに置かないでください。ディスクが変形して使用できなくなります。
- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで傷をつけたりしないでください。
- ディスクはきれいなものをご使用ください。汚れている場合は、乾いた布で中心から外側に向かって拭いてください。硬い布やシンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



400335

■MP3/WMAについて

本機はMP3/WMAファイルを再生することができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。以下に記載されている制限文字数はいずれも1 byte文字を使用した場合の文字数です。

●使用できるメディア

使用できるMP3/WMAを収録するためのメディアはCD-R、およびCD-RWです。本機では簡易フォーマットで作成されたメディアは再生できません。

●再生できるMP3フォーマット

本機で再生できるMP3フォーマットは以下になります。

- 規格：
 - MPEG-1 Layer 3
 - MPEG-2 Layer 3
 - MPEG 2.5 Layer 3
- サンプル周波数：
 - 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート：8～320 (kbps)
- 可変ビットレート対応

●再生できるWMAフォーマット

本機で再生できるWMAフォーマットは、WMA Ver 9.0 Standard規格のものです。タイプBオーディオ

- Windows Media Audio 9 準拠
- サンプル周波数：32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート：32～320 (kbps)

タイプCオーディオ

- Windows Media Audio 9 準拠
- サンプル周波数：32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート：48～192 (kbps)
- 可変ビットレート対応

●使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1：12文字
- ISO 9660 Level 2：31文字
- Joliet：64文字
- Romeo：128文字

次ページへ ⇒

⇒前ページより

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、以下の文字数まで表示が可能です。

タイプBオーディオ

16文字（全て2 byte文字）～32文字（全て1 byte文字）

文字数が15文字（全て2 byte文字）もしくは31文字（全て1 byte文字）以上の場合、文字列の最後に「…」(続きがある意味)が追加されます。表示されるファイル名に区切り文字“.”と拡張子は表示されません。

タイプCオーディオ

32文字（全て2 byte文字）～64文字（全て1 byte文字）

使用できる文字はライティングソフトの取扱説明書および「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、タイプBオーディオ、タイプCオーディオで表示可能な文字は、以下の文字になります。

- 半角文字（英数字、カタカナ、ASCIIコード）
- 全角カタカナ（半角カタカナに変換して表示）
- 全角ひらがな（半角カタカナに変換して表示）
- 一部全角記号（ASCIIコードの記号に変換）

上記以外の文字については「*」で表示されます。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

タイプBオーディオ

- 最大ディレクトリ階層：16階層（ROOTを含む）
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：100（ROOTを含む）
- 最大フォルダ名：200文字（表示は16～32文字まで）

タイプCオーディオ

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：250
- 最大フォルダ名：64文字

前記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

●圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3/WMA ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128 kbps”の“固定”を推奨します。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

●ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字またはひらがな文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されない場合があります。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの取扱説明書をご覧ください。また、MP3/WMAファイルと認識されて再生されるファイルは、“MP3”または“.WMA”の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“MP3”または“.WMA”拡張子を付けて保存してください。



MP3/WMA以外のファイルに、“MP3”または“.WMA”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損するおそれがあります。

禁止 MP3/WMA以外のファイルに、“MP3”または“.WMA”拡張子を付けないようにしてください。

●ID3/WMA Tagについて

ID3/WMA Tagについては、未対応になります。

●メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。

このため、再生するメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

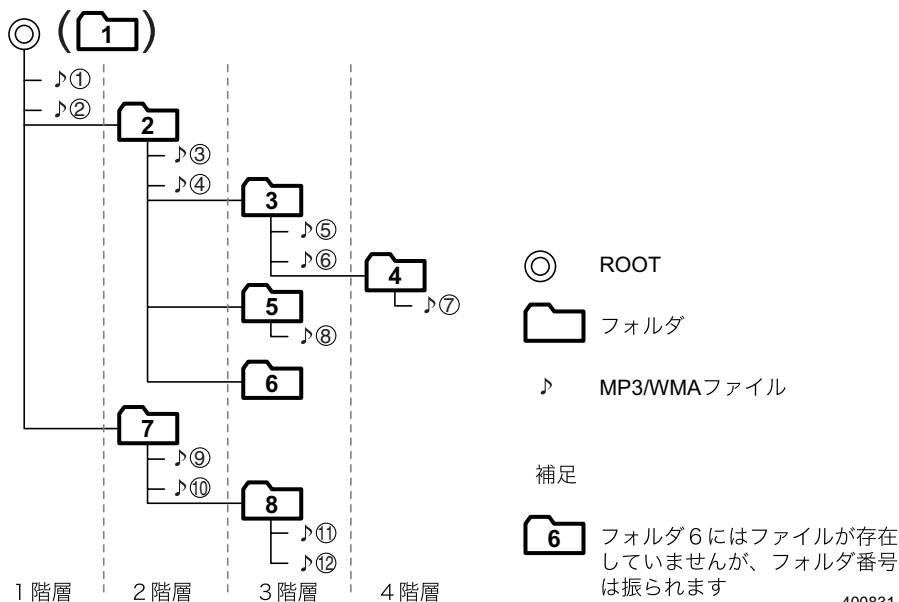
また、次のMP3/WMAファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

●MP3/WMAファイルを再生する順番

再生、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定できることがあります。以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

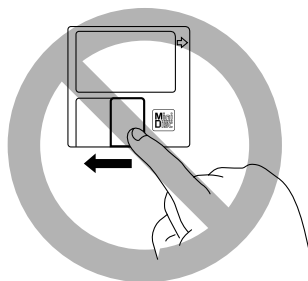
メディアの階層例



400831

■MDについて

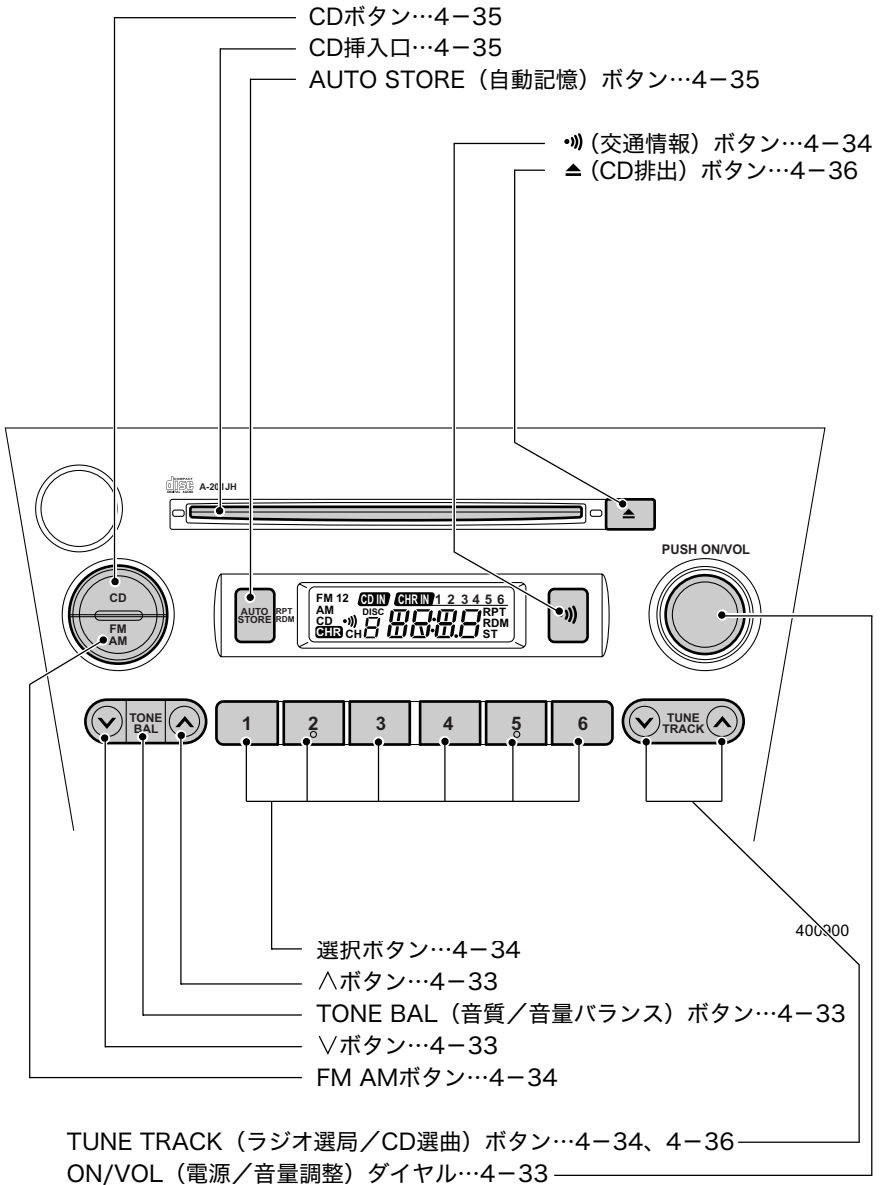
- MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが損傷して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指でさわらないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。
- カートリッジ表面の汚れやゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。とくに油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクが引き込まれなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開けないようご注意ください。
- MDを長時間本体に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



400834

- MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。
- ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本体の中ではがれて取り出せないなど故障の原因となります。
- レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因となります。

タイプA： AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー



■電源、音量・音質の調整


●電源を入れるとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「ON/VOL」ダイヤルを押すごとに電源がON・OFFします。

電源がONになると、前に電源をOFFにしたときのモードになります。

アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CDを挿入したとき
 - 「CD」ボタン※、「FM AMボタン」、「」ボタンを押したとき
- ※ 「CD」ボタンはCDが入っているとき

●音量を調整するとき

「ON/VOL」ダイヤルを回して調整します。

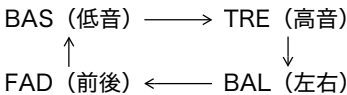
右に回す：音が大きくなります。

左に回す：音が小さくなります。

●音質と前後・左右の音量バランスを調整するとき

① 「TONE BAL」ボタンを押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに



と切り替わり、表示部に表示されます。

② 「TONE BAL」ボタンの横にある「V」ボタンまたは「^」ボタンを押して好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	V	^
BASS (低音) (-7~+7)	低音減衰	低音強調
TREBLE (高音) (-7~+7)	高音減衰	高音強調
BALANCE (左右) (L9~R9)	右側減衰	左側減衰
FADER (前後) (R9~F9)	前側減衰	後側減衰

アドバイス

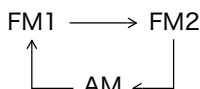
調整時、5秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

■ ラジオを聞くとき

● FM/AMを受信するとき

「FM AMボタン」を押します。

- バンドを切り替えるとき
「FM AMボタン」を押し、バンドを選択します。
ボタンを押すごとに



と切り替わり、表示部に表示されます。

● 選局するとき

「TUNE TRACK」ボタンの「V」または「^」を押します。

- 周波数に合わせて放送を聞くとき
「V」を押す：ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。
「^」を押す：ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。
- 自動的に放送局を探すとき
「TUNE TRACK」ボタンの「V」または「^」を0.5秒以上押します。放送局が見つかる受信を始めます。
「V」を押す：周波数の低い方へ放送局を探します。
「^」を押す：周波数の高い方へ放送局を探します。

アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

● 記憶させた放送局を呼び出すとき


「選択」ボタンのいずれかを押します。

アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

☆4-35ページ参照

● 交通情報を聞くとき

「」ボタンを押します。

どのモードからでも自動的に切り替わります。

もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。

■ ラジオの放送局を記憶するとき

● 手で放送局を記憶するとき

- ① 「FM AM」 ボタンを押してバンドを選択します。
- ② 「TUNE TRACK」 ボタンの「V」または「^」を操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③ 選択ボタンのいずれか1つを2秒以上押します。
表示部に押したボタンの番号（チャンネル番号）が表示されます。



アドバイス

各バンド（FM1、FM2、AM）で最大6局まで記憶できます。

● 自動的に放送局を記憶するとき



- ① 「FM AM」 ボタンを押してバンドを選択します。
- ② 「AUTO STORE」 ボタンを2秒以上押します。
受信可能な放送局が見つかったら、チャンネル1から6まで自動的に周波数の低い順に記憶されます。



アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

● 交通情報局をかえるとき

- ① 「」 ボタンを押して、交通情報を選択します。
- ② 「TUNE TRACK」 ボタンの「V」または「^」を押して選局します。
- ③ 「」 ボタンを2秒以上押すと、選局した交通情報局を記憶させることができます。

■ CDを聞くととき

● CDが入っていないとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、CDを挿入することができます。
CDの中心穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてCD挿入口に差し込みます。CDを挿入すると演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号（曲番号）を表示します。

● CDが入っているとき

「CD」 ボタンを押すと演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号（曲番号）を表示します。

アドバイス

- 8 cm CDは8 cm CDアダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど、損傷の原因となります。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CD-ROMやMP3※、WMA※で記録されたCDは再生できません。
- CD・TEXTについては対応しておりません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ER-○”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

※音楽データを圧縮して記録する方式

●演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤルを押して電源を切るか、他のモードに切り替えます。または「▲」ボタンを押してCDを排出します。

●CDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。CDが排出され、前のモードに切り替わります。

アドバイス

- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておくと、自動的に引き込まれます。この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞くときは再度「CD」ボタンを押してください。
- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- CDが未挿入のときでも「▲」ボタンを押すと、CD排出機構が動作し、動作音が聞こえます。

●選曲するとき

「TUNE TRACK」ボタンの「∨」または「∧」を押します。

- 先の曲にするとき

「∧」を押します。押すごとに先の曲を頭出しします。

- 手前の曲にするとき

「∨」を押します。1回目で今聞いている曲の先頭に、押すごとに手前の曲を頭出しします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「TUNE TRACK」ボタンの「V」または「^」を長めに押します。

- 早送り

「^」を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

- 早戻し

「V」を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき（リピートプレイ）

① 曲の演奏中に「RPT RDM」ボタン※を押します。

※CD再生モードでは「AUTO STORE」ボタンが「RPT RDM」ボタンとなります。

② 表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。

③ 解除するには再度「RPT RDM」ボタンを押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- ランダムプレイ機能にする
- 選曲、早送り、早戻しをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする

●曲を自動的に選ばせて聞くととき（ランダムプレイ）

① 曲の演奏中に「RPT RDM」ボタンを2秒以上押します。

② 表示部に“RDM”が点灯します。

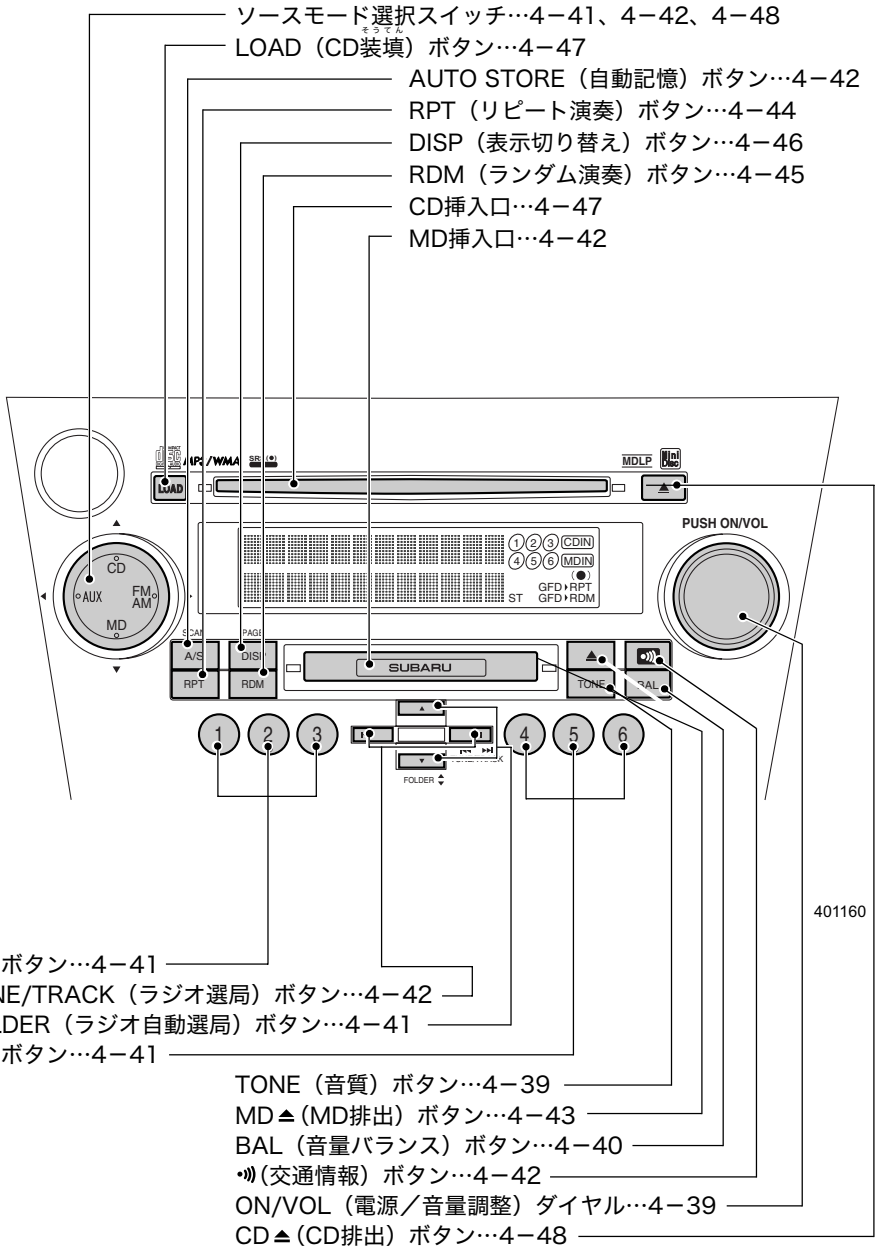
③ 曲を自動的に選び演奏します。

④ 解除するには再度「RPT RDM」ボタンを押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- 選曲、早送り、早戻しをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする

タイプB： AM/FMマルチ電子チューナー・インダッシュ6CD/MDプレーヤー



■電源、音量・音質の調整


●電源を入れるとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「ON/VOL」ダイヤルを押すことに電源がON・OFFします。

電源がONになると、前に電源をOFFにしたときのモードになります。

🏠 アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CD、MDを挿入したとき
- 「ソースモード選択」スイッチ※または「」ボタンを押したとき
 - ※選択スイッチを押すときは、下記の条件が必要です。
 - －「CD」を選択したときはCDが入っている
 - －「MD」を選択したときはMDが入っている
 - －「AUX」を選択したときは外部機器が接続されている
 - ※AUXは「後席オーディオコントロールスイッチ」もしくはスバル純正のAUX端子装着車のみ対応します。

●音量を調整するとき

「ON/VOL」ダイヤルを回して調整します。

右に回す：音が大きくなります

左に回す：音が小さくなります

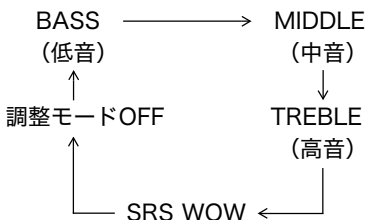
🏠 アドバイス

外部機器を再生している場合の音量調整は、外部機器を操作して行うこともできます。

●音質を調整するとき

①「TONE」ボタンを押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに



と切り替わり、表示部に表示されます。


次ページへ ⇒

⇒前ページより

②「ON/VOL」ダイヤルを回してお好みの位置に調整します。

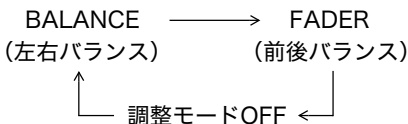
モード (調整レベル表示)	左に回したとき	右に回したとき
BASS (低音) (-10~+10)	低音減衰	低音強調
MIDDLE (中音) (-10~+10)	中音減衰	中音強調
TREBLE (高音) (-10~+10)	高音減衰	高音強調
SRS WOW (ON/OFF)	モードOFF	モードON

🏠 アドバイス

- 調整時、「TONE」ボタンを1秒以上押す、または5秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。
- SRS WOWについて
「自然な立体音場」、「豊かな低音」、「輪郭のはっきりしたクリアなサウンド」を融合することによりクリアで迫力ある音質を得ることができる技術です。
はSRS Labs, Inc.の商標です。SRS WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

●前後・左右の音量バランスを調整するとき

①「BAL」ボタンを押して調整モードを選択します。
ボタンを押すごとに



②「ON/VOL」ダイヤルを回してお好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	左に回したとき	右に回したとき
BALANCE (左右) (L9~R9)	右側減衰	左側減衰
FADER (前後) (R9~F9)	前側減衰	後側減衰

🏠 アドバイス

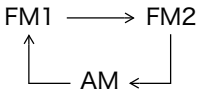
調整時、「BAL」ボタンを1秒以上押す、または5秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

■ ラジオを聞くとき

● FM/AMを受信するとき

「ソースモード選択」スイッチの「FM AM」を押します。

- バンドを切り替えるとき
「FM AM」を押し、バンドを選択します。
押すごとに



と切り替わり、表示部に表示されます。

● 選局するとき

「TUNE/TRACK」ボタンの「◀◀」または「▶▶」を押します。

- 周波数に合わせて放送を聞くとき
「◀◀」を押す：ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。
「▶▶」を押す：ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。
- 自動的に放送局を探すとき
「FOLDER」ボタンの「▼」または「▲」を押します。放送局が見つかったら受信を始めます。
「▼」を押す：周波数の低い方へ放送局を探します。
「▲」を押す：周波数の高い方へ放送局を探します。

アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

● 記憶させた放送局を呼び出すとき


「選択」ボタンのいずれかを押します。

アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

☆4-42ページ参照



●交通情報を聞くとき

「」ボタンを押します。

どのモードからでも切り替わります。

もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。





- 交通情報局をかえるとき

「TUNE/TRACK」ボタンの「」または「」を押して選局します。

交通情報局は1620 kHz、1629 kHz、522 kHzを選ぶことができます。初期値は1620 kHzになっています。

■ラジオの放送局を記憶するとき

●手動で放送局を記憶するとき

- ①「ソースモード選択」スイッチの「FM AM」を押してバンドを選択します。
- ②「TUNE/TRACK」ボタンの「」または「」を操作するか、「FOLDER」ボタンの「」または「」を操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③ 選択ボタンのいずれか1つを2秒以上押します。
表示部に押したボタンの番号（チャンネル番号）が表示されます。



アドバイス

各バンド（FM1、FM2、AM）で最大6局まで記憶できます。

●自動的に放送局を記憶するとき

- ①「ソースモード選択」スイッチの「FM AM」を押してバンドを選択します。
- ②「AUTO STORE」ボタンを2秒以上押します。
受信可能な放送局が見つかったら、チャンネル1から6まで自動的に周波数の低い順に記憶されます。



アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

■MDを聞くとき

●MDが入っていないとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、MDを挿入することができます。

MDのラベル面を上にし、シャッター面を右側にしてMD挿入口に入れます。MDを挿入すると演奏が始まります。

●MDが入っているとき

「ソースモード選択」スイッチの「MD」を押すと演奏が始まります。

 **アドバイス**

MDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“PUSH EJECT”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してMDを取り出してください。MDに傷や変形がないこと、またMDプレーヤーに対応しているMDが正しく挿入されていることを確認してください。MDが取り出せない場合、もしくはMDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

●演奏を停止するとき

「ON/VOL」ボタンを押すか、他のモードに切り替えます。
または「▲」ボタンを押してMDを排出します。

●MDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。MDが排出され、前のモードに切り替わります。


 **アドバイス**

エンジンスイッチがOFFでもMDの排出をすることができます。

●グループ登録されたMDを聞くととき

グループ登録されたMDの場合、お好みのグループを選択して聞くことができます。


- ①「FOLDER」ボタンの「▼」または「▲」を押します。
「▲」を押す：ボタンを押すごとに先のグループが選択されます。
「▼」を押す：ボタンを押すごとに手前のグループが選択されます。
- ②グループを選択した後は、通常のMDと同じ操作で聞くことができます。

 **アドバイス**

- グループ機能がOFFの場合、グループ選択はできません。
オーディオの電源がOFFの状態ですべて「ソースモード選択」スイッチの「MD」を2秒以上押すことによって、ON、OFFを切り替えることができます。
- グループ登録されている曲とされていない曲が1枚のMDの中に混在する場合、グループ登録されている曲が先に再生されます。
- Hi-MDは再生できません。

●MDLPを聞くととき

通常のMDと同じ操作で聞くことができます。

 **アドバイス**

LP2モードとLP4モードで記録されたMDを再生することができます。

●選曲するとき

「TUNE/TRACK」ボタンの「◀◀」または「▶▶」を押します。

- 先の曲にするとき
「▶▶」を押します。押すごとに先の曲を頭出しします。
- 手前の曲にするとき
「◀◀」を押します。1回目で今聞いている曲の先頭に、押すごとに手前の曲を頭出しします。

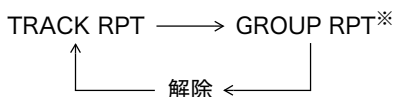
●曲の早送り、早戻しをするとき

「TUNE/TRACK」ボタンの「◀◀」または「▶▶」を長めに押します。

- 早送り
「▶▶」を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。
- 早戻し
「◀◀」を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき（リピートプレイ）

- ①曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。
押すたびに



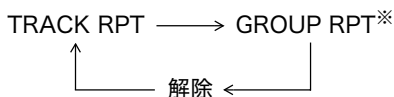
と切り替わり、表示部に表示されます。

※グループ登録されていないMDの場合、“GROUP RPT”には切り替わりません。

- ②表示部に“TRACK RPT”を表示させます。演奏中の曲を繰り返し演奏します。
 - ③解除するには「RPT」ボタンを1秒以上押す、もしくは「RPT」ボタンを押して“解除”に切り替えます。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。
- MDを排出する。
 - ランダムプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする。

●同じグループを繰り返し聞くととき（グループリピートプレイ）

- ①曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。
押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※グループ登録されていないMDの場合、“GROUP RPT”には切り替わりません。

- ②表示部に“GROUP RPT”を表示させます。演奏中のグループを繰り返し演奏します。

- ③ 解除するには「RPT」ボタンを1秒以上押す、もしくは「RPT」ボタンを押して“解除”に切り替えます。
- また、次の操作をしても自動的に解除されます。
- MDを排出する。
 - ランダムプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする。



アドバイス

グループ登録されていないMDにグループリピートプレイ機能は使用できません。

● 曲を自動的に選ばせて聞くと き (ランダムプレイ)

- グループランダムプレイ

グループ内の曲を自動的に選曲させます。

- ① 曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。
- 押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

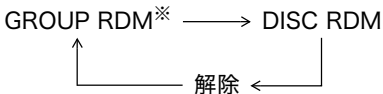
※グループ登録されていないMDの場合、“GROUP RDM”には切り替わりません。

- ② 表示部に“GROUP RDM”を表示させます。曲を自動的に選び演奏します。
- ③ 解除するには「RDM」ボタンを1秒以上押す、もしくは「RDM」ボタンを押して“解除”に切り替えます。
- また、次の操作をしても自動的に解除されます。
- － MDを排出する。
 - － リピートプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする。

- ディスクランダムプレイ

ディスク内の全曲を自動的に選曲させます。

- ① 曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。
- 押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※グループ登録されていないMDの場合、“GROUP RDM”には切り替わりません。

- ② 表示部に“DISC RDM”を表示させます。曲を自動的に選び演奏します。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

- ③解除するには「RDM」ボタンを1秒以上押す、もしくは「RDM」ボタンを押して“解除”に切り替えます。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。
 - －MDを排出する。
 - －リピートプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする。

●聞きたい曲を探すとき（スキャンプレイ）

曲の最初の10秒間だけを順番に再生する機能です。

- ①曲の演奏中に「AUTO STORE」ボタンを押します。

押すたびに

DISC SCAN ←→ 解除
(GROUP SCAN) ※

と切り替わります。

※グループ登録されたMDの場合

- ②トラック番号（曲番号）が点滅し、スキャンプレイが開始されます。

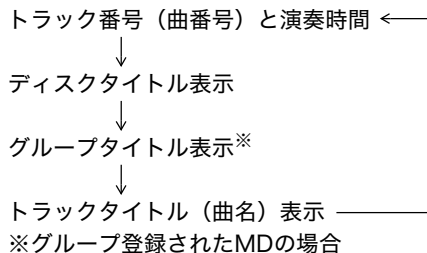


アドバイス

- グループ登録されたMDを演奏しているとき、グループ内の曲の演奏が終わると、スキャンプレイ開始時の曲に戻り、スキャンプレイを終了します。
- 次の操作をするとスキャンプレイ機能が自動的に解除されます。
 - －MDを排出する
 - －リピートプレイ機能またはランダムプレイ機能にする
 - －MD以外のモードにする
 - －電源をOFFにする
 - －エンジンスイッチをOFFにする

●表示部の表示を切り替えるとき

MD再生時、「DISP」ボタンを押すごとに表示の切り替えができます。



アドバイス

- 漢字、ひらがなで入力されたタイトルは表示できません。
- タイトル文字は1回に12文字まで表示できます。
- タイトル名が13文字以上の場合、タイトル表示中に「DISP」ボタンを1秒以上押すと、13文字以降のタイトルを表示します。
- MD にタイトルが記録されていない場合は表示しません。その場合“NO TITLE”と表示します。

■CDを聞くととき

本機は12 cm CDのみ再生することができます。

●CDが入っていないとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、CDを挿入することができます。

次の手順にしたがいCDを挿入します。CD演奏中はディスク番号とトラック番号（曲番号）を表示します。

- CDを挿入するには
 - ①「LOAD」ボタンを押します。
 - ②表示部に挿入するディスク番号が点滅し、“LOAD”と表示されると、挿入準備完了です。
 - ③CDを挿入します。
 - ④CDの演奏を始めます。
- 複数のCDを連続挿入するには
 - ①「LOAD」ボタンを1秒以上押すと“ピッ”と音がします。
 - ②表示部に“ALL LOAD”と表示されます。
 - ③CDを1枚ずつ挿入します。
 - ④最初に入れたCDから演奏を始めます。ただし途中で「LOAD」を1秒以上押し解除した場合、最初のディスクから演奏します。
- 指定したディスク番号にCDを挿入するには
 - ①「LOAD」ボタンを押します。
 - ②「選択」ボタンの中から挿入するディスク番号を指定します。
 - ③表示部に挿入するディスク番号が点滅し、“LOAD”と表示されると、挿入準備完了です。
 - ④CDを挿入します。
 - ⑤CDの演奏を始めます。

アドバイス

- “LOAD”または“ALL LOAD”表示後15秒間ディスクを挿入しないと、「LOAD」ボタンを押す前の状態に戻ります。
- CDを挿入する際は、CDの中心穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてCD挿入口に挿入してください。

●CDが入っているとき

「ソースモード選択」スイッチの「CD」を押すと、前に聞いていたCDから演奏を始めます。

アドバイス

CDの再生はディスク番号1→2→3→4→5→6→1…の順で再生されます。また、CDの入っていないディスク番号は飛ばして再生します。

●演奏するCDを指定するとき

CD演奏中に、「選択」ボタンの中から聞きたいディスク番号を押すと、指定したCDの演奏が始まります。

アドバイス

- 8 cm CDは使用しないでください。損傷の原因となります。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“PUSH EJECT”または“CHECK DISC”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

●演奏を停止するとき

「ON/VOL」ボタンを押すか、他のモードに切り替えます。
または「▲」ボタンを押してCDを排出します。

●CDを取り出すには

- 演奏中のCDを取り出すには
「▲」ボタンを押します。

演奏を中止し、自動的にCDが排出されます。

- 演奏中以外のCDを取り出すには
「選択」ボタンで取り出したいディスク番号を選択した後、「▲」ボタンを押すと演奏を中止し、自動的に指定したCDが排出されます。
- 全てのCDを取り出すには
 - ①「▲」ボタンを1秒以上押します。
 - ②演奏中止後、表示部に“ALL EJECT”が点灯し、1枚目のCDが排出されます。CDを抜き出すと、次のCDが自動的に排出されます。排出されたCDを全て抜き出します。


アドバイス

- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておく自動的に引き込まれません。

●MP3/WMA CDを聞くとき

本機はMP3、WMA形式で記録されたCDを再生することができます。

また、CD内のデータがフォルダ分けされている場合、お好みのフォルダを選択して聞くことができます。

- ①「FOLDER」ボタンの「▼」または「▲」を押します。
 「▲」を押す：ボタンを押すごとに先のフォルダが選択されます。
 「▼」を押す：ボタンを押すごとに手前のフォルダが選択されます。
- ②フォルダを選択した後は、通常のCDと同じ操作で聞くことができます。

●選曲するとき

「TUNE/TRACK」ボタンの「◀◀」または「▶▶」を押します。

- 先の曲にするとき
 「▶▶」を押します。押すごとに先の曲を頭出しします。
- 手前の曲にするとき
 「◀◀」を押します。1回目で今聞いている曲の先頭に、押すごとに手前の曲を頭出しします。

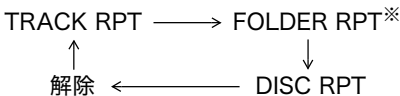
●曲の早送り、早戻しをするとき

「TUNE/TRACK」ボタンの「◀◀」または「▶▶」を長めに押します。

- 早送り
 「▶▶」を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。
- 早戻し
 「◀◀」を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くとき（リピートプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。
 押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされていないCDの場合、“FOLDER RPT”には切り替わりません。

- ② 表示部に“TRACK RPT”を表示させます。演奏中の曲を繰り返し演奏します。

次ページへ ⇒

⇒前ページより

③解除するには「RPT」ボタンを1秒以上押す、もしくは「RPT」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

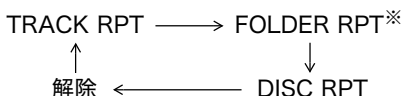
また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- ランダムプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする
- 他のディスクを挿入したとき

●同じフォルダを繰り返し聞くととき（フォルダリピートプレイ）

CD内のデータがフォルダ分けされている場合、お好みのフォルダを繰り返し聞くことができます。

①曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。
押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされていないCDの場合、“FOLDER RPT”には切り替わりません。

②表示部に“FOLDER RPT”を表示させます。演奏中のフォルダを繰り返し演奏します。

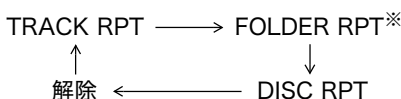
③解除するには「RPT」ボタンを1秒以上押す、もしくは「RPT」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- ランダムプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする
- 他のディスクを挿入したとき

●同じCDを繰り返し聞くととき（ディスクリピートプレイ）

①曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。
押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされていないCDの場合、“FOLDER RPT”には切り替わりません。

②表示部に“DISC RPT”を表示させます。演奏中のCDを繰り返し演奏します。

③解除するには「RPT」ボタンを1秒以上押す、もしくは「RPT」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- ランダムプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする
- 他のディスクを挿入したとき

●曲を自動的に選ばせて聞くととき（ランダムプレイ）

• フォルダランダムプレイ

フォルダ内の曲を自動的に選曲させます。

①曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。

押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされていないCDの場合、“FOLDER RDM”には切り替わりません。

②表示部に“FOLDER RDM”を表示させます。曲を自動的に選び演奏します。

③解除するには「RDM」ボタンを1秒以上押す、もしくは「RDM」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

－CDを排出する

－リピートプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする

－他のディスクを挿入したとき

• ディスクランダムプレイ

ディスク内の全曲を自動的に選曲させます。

①曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。

押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされていないCDの場合、“FOLDER RDM”には切り替わりません。

②表示部に“DISC RDM”を表示させます。曲を自動的に選び演奏します。

③解除するには「RDM」ボタンを1秒以上押す、もしくは「RDM」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

－CDを排出する

－リピートプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする

－他のディスクを挿入したとき

●聞きたい曲を探すとき（スキャンプレイ）

曲の最初の10秒間だけを順番に再生する機能です。

①曲の演奏中に「AUTO STORE」ボタンを押します。

押すたびに

DISC SCAN ←→ 解除
(FOLDER SCAN) ※

と切り替わります。

※フォルダ分けされたCDの場合

②トラック番号（曲番号）が点滅し、スキャンプレイが開始されます。

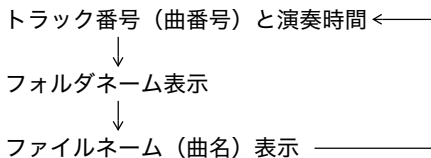
🏠 アドバイス

- フォルダ分けされたCDを演奏しているとき、フォルダ内の曲の演奏が終わると、フォルダスキャン開始時の曲に戻り、スキャンプレイを終了します。
- 次の操作をするとスキャンプレイ機能が自動的に解除されます。
 - － CDを排出する
 - － リピートプレイ機能またはランダムプレイ機能にする
 - － 演奏するCDを指定したとき（ディスクチェンジ）
 - － CD以外のモードにする
 - － 電源をOFFにする
 - － エンジンスイッチをOFFにする

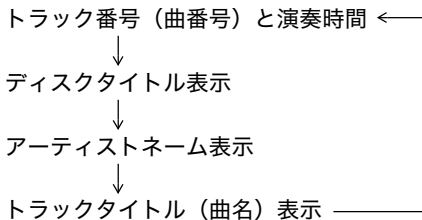
●表示部の表示を切り替えるとき

CD再生時、「DISP」ボタンを押すごとに表示の切り替えができます。

<MP3/WMA CD>



<CD-TEXT>

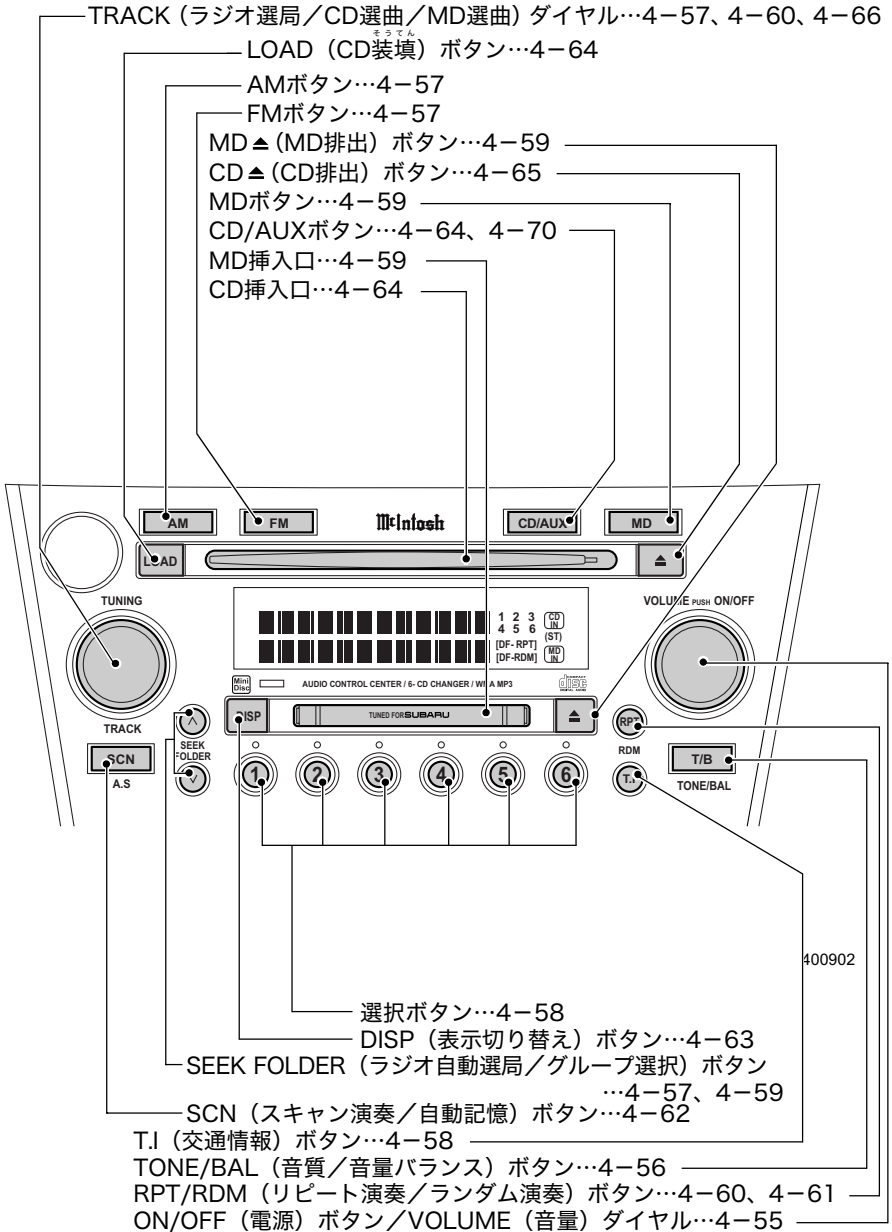


**アドバイス**

- 漢字、ひらがなで入力されたネームまたはタイトルは表示できません。
- ネームまたはタイトルは1回に12文字まで表示できます。
- ネームまたはタイトルが13文字以上の場合、ネームまたはタイトル表示中に「DISP」ボタンを1秒以上押すと、13文字以降の文字を表示します。
- ネームまたはタイトルが16文字以上の場合、17文字目以降の文字は“--”と表示されます。
- CD にネームまたはタイトルが記録されていない場合は表示しません。その場合、“NO NAME”または“NO TITLE”と表示します。
- フォルダ分けされていない MP3/WMA CD の場合、フォルダネームは“ROOT”と表示されます。

タイプC :

マッキントッシュAM/FMマルチ電子チューナー・インダッシュ6CD/MDプレーヤー



■電源、音量・音質の調整

●電源を入れるとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「ON/OFF」ボタンを押すごとに電源がON・OFFします。

電源がONになると、前に電源をOFFにしたときのモードになります。

アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CD、MDを挿入したとき
- 「T.I」ボタン、「AM」ボタン、「FM」ボタン、「CD/AUX」ボタン※¹、「MD」ボタン※²を押したとき

※¹「CD/AUX」ボタンはCDが入っているまたは外部機器が接続されているとき

AUXは「後席オーディオコントロールスイッチ」もしくはスバル純正のAUX端子装着車のみ対応します。

※²「MD」ボタンはMDが入っているとき

●音量を調整するとき

「VOLUME」ダイヤルを回して調整します。

右に回す：音が大きくなります。

左に回す：音が小さくなります。

アドバイス

- 外部機器を再生している場合の音量調整は、外部機器を操作して行うこともできます。
- マッキントッシュ装着車には、別体パワーアンプが助手席シート下に装着されます。

ーパワーアンプにはPOWER GUARD回路※¹と熱保護回路※²を内蔵しているため、大音量で再生すると自動的に音量が下がる場合があります。

ーパワーアンプは発熱を強制的に抑えるため、ファンを内蔵しています。車室内が静かな状態では、ファンの音が聞こえる場合があります。

※¹POWER GUARD回路：歪みを検知すると自動的に音量を下げ、常にクリアなサウンドを維持します。

※²熱保護回路：長時間使用時に発生する熱からアンプ回路を守ります。

●音質と前後・左右の音量バランス

●音質を調整するとき

- ①「TONE/BAL」ボタンを押して調整モードを選択します。
ボタンを押すごとに



と切り替わり、表示部に表示されます。

- ②「VOLUME」ダイヤルを回してお好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	左に回す	右に回す
BASS (低音) (-6~+6)	低音減衰	低音強調
MIDDLE (中音) (-6~+6)	中音減衰	中音強調
TREBLE (高音) (-6~+6)	高音減衰	高音強調

●バランスを調整するとき

- ①「TONE/BAL」ボタンを押して調整モードを選択します。
ボタンを押すごとに



と切り替わり、表示部に表示されます。

- ②「VOLUME」ダイヤルを回してお好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	左に回す	右に回す
FADER (前後) (R9~F9)	前側減衰	後側減衰
BALANCE (左右) (L9~R9)	右側減衰	左側減衰



アドバイス

調整時、5秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

●音質設定

セダンとワゴンの車両形状の違いや、内装の種類などの車室空間の違いに対して、最適な音質設定に切り替えることができます。また、お好みの音質設定に切り替えることができます。

●設定方法

- ①「ON/OFF」ボタンを押して電源をOFFにします。
 - ②「TONE/BAL」ボタンを押しながら、「選択」ボタンの2つの番号を同時に押すと設定が切り替わり表示部に表示されます。
- 設定内容と「選択」ボタンの番号は、以下になります。

「選択」ボタン	設定内容
「1」と「3」	ワゴン 標準内装
「2」と「3」	ワゴン 革内装
「1」と「4」	セダン 標準内装
「2」と「4」	セダン 革内装

■ラジオを聞くとき

●FMを受信するとき

「FM」ボタンを押します。

押すごとに

FM1 ←→ FM2

と切り替わり、表示部に表示されます。

●AMを受信するとき

「AM」ボタンを押します。

●選局するとき

●周波数に合わせて放送を聞くとき

「TRACK」ダイヤルを回すと周波数が1ステップ変化します。

右に回す：ダイヤルを回すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。

左に回す：ダイヤルを回すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。

●自動的に放送局を探すとき

「SEEK FOLDER」ボタンの「V」または「^」を0.5秒以上押します。放送局が見つかったら受信を始めます。

「^」を押す：周波数の高い方へ放送局を探します。

「V」を押す：周波数の低い方へ放送局を探します。

アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

●記憶させた放送局を呼び出すとき

「選択」ボタンのいずれかを押します。

アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

●交通情報を聞くとき

「T.I」ボタンを押します。

どのモードからでも自動的に切り替わります。

もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。

■ラジオの放送局を記憶するとき

●手動で放送局を記憶するとき

- ①「AM」ボタンまたは「FM」ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「TRACK」ダイヤルを操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③選択ボタンのいずれか1つを1.5秒以上押します。
表示部に押したボタンの番号（チャンネル番号）が表示されます。

アドバイス

各バンド（FM1、FM2、AM）で最大6局まで記憶できます。

●自動的に放送局を記憶するとき

- ①「AM」ボタンまたは「FM」ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「SCN」ボタンを0.5秒以上押します。受信可能な放送局が見つかったら、チャンネル1から6まで自動的に周波数の低い順に記憶されます。

アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

●交通情報局をかえるとき

- ①「T.I」ボタンを押して、交通情報を選択します。
- ②「TRACK」ダイヤルを回して選局します。

■MDを聞くとき

●MDが入っていないとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、MDを挿入することができます。MDのラベル面を上にし、シャッター面を右側にしてMD挿入口に入れます。MDを挿入すると演奏が始まります。

●MDが入っているとき

「MD」ボタンを押すと演奏が始まります。

アドバイス

MDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“PUSH EJECT”または“CHECK DISC”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してMDを取り出してください。MDに傷や変形がないこと、またMDプレーヤーに対応しているMDが正しく挿入されていることを確認してください。MDが取り出せない場合、もしくはMDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

●演奏を停止するとき

「ON/OFF」ボタンを押すか、他のモードに切り替えます。または「▲」ボタンを押してMDを排出します。

●MDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。MDが排出され、前のモードに切り替わります。

アドバイス

エンジンスイッチがOFFでもMDの排出をすることができます。

●グループ登録されたMDを聞くとき

グループ登録されたMDの場合、お好みのグループを選択して聞くことができます。

- ①「SEEK FOLDER」ボタンの「∨」または「∧」を押します。
「∧」を押す：ボタンを押すごとに先のグループが選択されます。
「∨」を押す：ボタンを押すごとに手前のグループが選択されます。
- ②グループを選択した後は、通常のMDと同じ操作で聞くことができます。



アドバイス

- グループ機能がOFFの場合、グループ選択はできません。「MD」ボタンを0.5秒以上押しすと、ONにすることができます。OFFにする場合は、再度「MD」ボタンを0.5秒以上押しします。
- グループ登録されている曲とされていない曲が1枚のMDの中に混在する場合、グループ登録されている曲が先に再生されます。
- Hi-MDは再生できません。

●MDLPを聞くとき

通常のMDと同じ操作で聞くことができます。



アドバイス

LP2モードとLP4モードで記録されたMDを再生することができます。

●選曲するとき

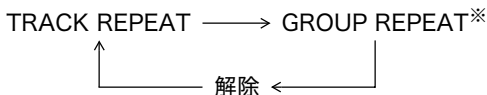
- 先の曲にするとき
「TRACK」ダイヤルを右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。
- 手前の曲にするとき
「TRACK」ダイヤルを左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲を頭出しします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

- 早送り
「∧」ボタンを0.5秒以上押しすと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。
- 早戻し
「∨」ボタンを0.5秒以上押しすと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき (リピートプレイ)

- ① 曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを押します。
押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※グループ登録されていないMDの場合、“GROUP REPEAT”には切り替わりません。

- ② 表示部に“TRACK REPEAT”を表示させます。演奏中の曲を繰り返し演奏します。

アドバイス

次の操作をするるとリピートプレイ機能が自動的に解除されます。

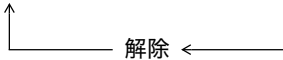
- 電源をOFFにする
- MD以外のモードにする
- MDを排出する
- エンジンスイッチをOFFにする
- ランダムプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする

●同じグループを繰り返し聞くととき（グループリピートプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを押します。

押すたびに

TRACK REPEAT → GROUP REPEAT※



と切り替わり、表示部に表示されます。

※グループ登録されていないMDの場合、“GROUP REPEAT”には切り替わりません。

- ② 表示部に“GROUP REPEAT”を表示させます。演奏中のグループを繰り返し演奏します。

アドバイス

- グループ登録されていない MD にグループリピートプレイ機能は使用できません。
- 次の操作をするとグループリピートプレイ機能が自動的に解除されます。
 - － 電源をOFFにする
 - － MD以外のモードにする
 - － MDを排出する
 - － エンジンスイッチをOFFにする
 - － ランダムプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする

●曲を自動的に選ばせて聞くととき（ランダムプレイ）

- グループランダムプレイ

グループ内の曲を自動的に選曲させます。

- ① 曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを0.5秒以上押します。

押すたびに

GROUP RANDOM※ → DISC RANDOM



と切り替わり、表示部に表示されます。

※グループ登録されていないMDの場合、“GROUP RANDOM”には切り替わりません。

- ② 表示部に“GROUP RANDOM”を表示させます。曲を自動的に選び演奏します。

🏠 アドバイス

- グループ登録されていない MD にグループランダムプレイ機能は使用できません。
- 次の操作をするとグループランダムプレイ機能が自動的に解除されます。
 - － 電源をOFFにする
 - － MD以外のモードにする
 - － MDを排出する
 - － エンジンスイッチをOFFにする
 - － リピートプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする

● ディスクランダムプレイ

ディスク内の全曲を自動的に選曲させます。

① 曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを0.5秒以上押します。

押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※グループ登録されていないMDの場合、“GROUP RANDOM”には切り替わりません。

② 表示部に“DISC RANDOM”を表示させます。曲を自動的に選び演奏します。

🏠 アドバイス

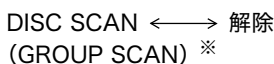
- 次の操作をするとリピートプレイ機能が自動的に解除されます。
 - － 電源をOFFにする
 - － MD以外のモードにする
 - － MDを排出する
 - － エンジンスイッチをOFFにする
 - － リピートプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする

● 聞きたい曲を探すとき（スキャンプレイ）

曲の最初の10秒間だけを順番に再生する機能です。

① 曲の演奏中に「SCN」ボタンを押します。

押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※グループ登録されたMDの場合

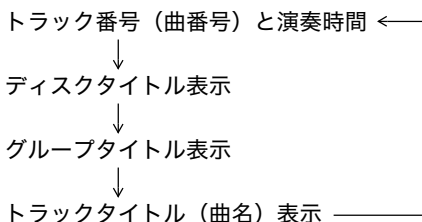
② 表示部に“DISC SCAN”を表示させます。スキャンプレイが開始されます。

アドバイス

- グループ登録されたMDを演奏しているとき、表示部は“GROUP SCAN”と表示されます。フォルダ内の曲の演奏が終わると、同じグループの先頭の曲に戻り、スキャンプレイを続けます。
- 次の操作をするとスキャンプレイ機能が自動的に解除されます。
 - － MDを排出する
 - － リピートプレイ機能またはランダムプレイ機能にする
 - － MD以外のモードにする
 - － 電源をOFFにする
 - － エンジンスイッチをOFFにする

●表示部の表示を切り替えるとき

MD再生時、「DISP」ボタンを押すごとに表示の切り替えができます。



アドバイス

- 漢字、ひらがなで入力されたタイトルは表示できません。
- タイトル文字は1回に12文字まで表示できます。
- タイトル名が13文字以上の場合、タイトル表示中に「DISP」ボタンを1秒以上押すと、13文字以降のタイトルを表示します。
- MD にタイトルが記録されていない場合は表示しません。その場合“NO TITLE”と表示します。

■CDを聞くとき

本機は12cmCDのみ再生することができます。

●CDが入っていないとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、CDを挿入することができます。

次の手順にしたがいCDを挿入します。CD演奏中はディスク番号とトラック番号（曲番号）を表示します。

- CDを挿入するには
 - ①「LOAD」ボタンを押します。
 - ②表示部に挿入するディスク番号が点滅し、“LOAD”と表示されると、挿入準備完了です。
 - ③CDを挿入します。
 - ④CDの演奏を始めます。
- 複数のCDを連続挿入するには
 - ①「LOAD」ボタンを2秒以上押すと“ピッ”と音がします。
 - ②表示部に“ALL LOAD”と表示されると、挿入準備完了です。
 - ③CDを1枚ずつ挿入します。
 - ④最初に入れたCDから演奏を始めます。
- 指定したディスク番号にCDを挿入するには
 - ①「LOAD」ボタンを押します。
 - ②「選択」ボタンの中から挿入するディスク番号を指定します。
 - ③表示部に挿入するディスク番号が点滅し、“LOAD”と表示されると、挿入準備完了です。
 - ④CDを挿入します。
 - ⑤CDの演奏を始めます。



アドバイス

- “LOAD” または “ALL LOAD” 表示後 15 秒間ディスクを挿入しないと、「LOAD」ボタンを押す前の状態に戻ります。
- CDを挿入する際は、CDの中心穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてCD挿入口に挿入してください。

●CDが入っているとき

「CD/AUX」ボタンを押すと、前に聞いていたCDから演奏を始めます。



アドバイス

CDの再生はディスク番号1→2→3→4→5→6→1…の順で再生されます。また、CDの入っていないディスク番号は飛ばして再生します。

●演奏するCDを指定するとき

CD演奏中に、「選択」ボタンの中から聞きたいディスク番号を押すと、指定したCDの演奏が始まります。

アドバイス

- 8 cm CDは使用しないでください。損傷の原因となります。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“PUSH EJECT”または“CHECK DISC”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

●演奏を停止するとき

「ON/OFF」ボタンを押すか、他のモードに切り替えます。

また「▲」ボタンを押してCDを排出します。

●CDを取り出すには

- 演奏中のCDを取り出すには
「▲」ボタンを押します。
演奏を中止し、自動的にCDが排出されます。
- 演奏中以外のCDを取り出すには
「選択」ボタンで取り出したいディスク番号を選択した後、「▲」ボタンを押すと演奏を中止し、自動的に指定したCDが排出されます。
- 全てのCDを取り出すには
①「▲」ボタンを1.5秒以上押します。
②演奏中止後、表示部に“ALL EJECT”が点滅し、自動的に全てのCDが排出されます。

アドバイス

- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておくと自動的に引き込まれます。

●MP3/WMA CDを聞くととき

本機はMP3、WMA形式で記録されたCDを再生することができます。

また、CD内のデータがフォルダ分けされている場合、お好みのフォルダを選択して聞くことができます。

- ①「SEEK FOLDER」ボタンの「V」または「^」を押します。
「^」を押す：ボタンを押すことに先のフォルダが選択されます。
「V」を押す：ボタンを押すことに手前のフォルダが選択されます。
- ②フォルダを選択した後は、通常のCDと同じ操作で聞くことができます。

●選曲するとき

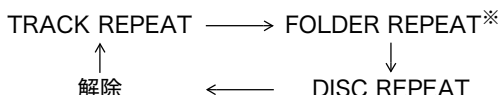
- 先の曲にするとき
「TRACK」ダイヤルを右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。
- 手前の曲にするとき
「TRACK」ダイヤルを左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲を頭出しします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

- 早送り
「F」ボタンを0.5秒以上押しすと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。
- 早戻し
「R」ボタンを0.5秒以上押しすと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき（リピートプレイ）

- ①曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを押します。
押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされていないCDの場合、“FOLDER REPEAT”には切り替わりません。

- ②表示部に“TRACK REPEAT”を表示させます。演奏中の曲を繰り返し演奏します。

アドバイス

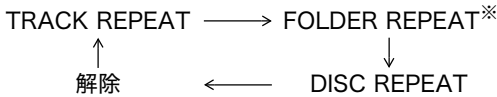
次の操作をするとリピートプレイが自動的に解除されます。

- 電源をOFFにする
- CD以外のモードにする
- CDを排出する
- エンジンスイッチをOFFにする
- ランダムプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする
- 演奏するCDを指定する（ディスクチェンジ）

●同じフォルダを繰り返し聞くととき（フォルダリピートプレイ）

①曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを押します。

押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされていないCDの場合、“FOLDER REPEAT”には切り替わりません。

②表示部に“FOLDER REPEAT”を表示させます。演奏中のフォルダを繰り返し演奏します。

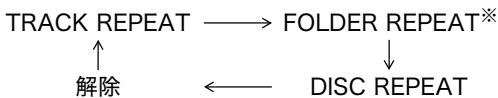
アドバイス

- フォルダ分けされていないCDにフォルダリピートプレイ機能は使用できません。
- 次の操作をするとフォルダリピートプレイが自動的に解除されます。
 - 電源をOFFにする
 - CD以外のモードにする
 - CDを排出する
 - エンジンスイッチをOFFにする
 - ランダムプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする
 - 演奏するCDを指定する（ディスクチェンジ）

●同じCDを繰り返し聞くととき（ディスクリピートプレイ）

①曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを押します。

押すたびに



と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされていないCDの場合、“FOLDER REPEAT”には切り替わりません。

②表示部に“DISC REPEAT”を表示させます。演奏中のCDを繰り返し演奏します。

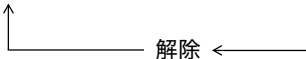
● ディスクランダムプレイ

ディスク内の全曲を自動的に選曲させます。

① 曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを0.5秒以上押します。

0.5秒以上押すたびに

FOLDER RANDOM※ → DISC RANDOM



と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされていないCDの場合、“FOLDER RANDOM”には切り替わりません。

② 表示部に“DISC RANDOM”を表示させます。曲を自動的に選び演奏します。



アドバイス

次の操作をするとリピートプレイ機能が自動的に解除されます。

- 電源をOFFにする
- CD以外のモードにする
- CDを排出する
- エンジンスイッチをOFFにする
- リピートプレイ機能またはスキャンプレイ機能にする
- 演奏するCDを指定する（ディスクチェンジ）

● 聞きたい曲を探すとき（スキャンプレイ）

曲の最初の10秒間だけを順番に再生する機能です。

① 曲の演奏中に「SCN」ボタンを押します。

押すたびに

DISC SCAN ←→ 解除

(FOLDER SCAN) ※

と切り替わり、表示部に表示されます。

※フォルダ分けされたCDの場合

② 表示部に“DISC SCAN”を表示させます。スキャンプレイが開始されます。



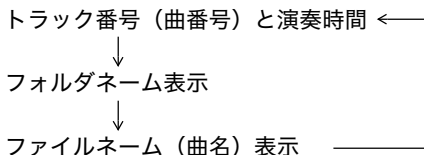
アドバイス

- フォルダ分けされたCDを演奏しているとき、表示部は“FOLDER SCAN”と表示されます。フォルダ内の曲の演奏が終わると、同じフォルダの先頭の曲に戻り、スキャンプレイを続けます。
- 次の操作をするとスキャンプレイ機能が自動的に解除されます。
 - － 電源をOFFにする
 - － CD以外のモードにする
 - － CDを排出する
 - － エンジンスイッチをOFFにする
 - － リピートプレイ機能またはランダムプレイ機能にする
 - － 演奏するCDを指定する（ディスクチェンジ）

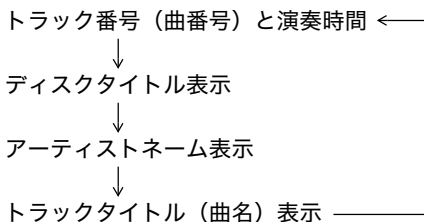
●表示部の表示を切り替えるとき

CD再生時、「DISP」ボタンを押すごとに表示の切り替えができます。

<MP3/WMA CD>



<CD-TEXT>



アドバイス

- 漢字、ひらがなで入力されたネームまたはタイトルは表示できません。
- ネームまたはタイトルは1回に12文字まで表示できます。
- ネームまたはタイトルが13文字以上の場合、ネームまたはタイトル表示中に「DISP」ボタンを1秒以上押しと、13文字以降の文字を表示します。
- CDにネームまたはタイトルが記録されていない場合は表示しません。その場合、「NO NAME」または「NO TITLE」と表示します。
- フォルダ分けされていない MP3/WMA CD の場合、フォルダネームは「ROOT」と表示されます。

■外部機器を再生するとき

●AUX端子について

外部機器を接続するための入力端子です。

市販のポータブルオーディオなどをAUX端子に接続することができます。

☆4-75ページ参照

●再生するとき

市販のAUX接続コード（抵抗なし）を使用して、外部機器をAUX端子に接続します。

エンジンスイッチがAccまたはONのとき「CD/AUX」ボタンを押します。

表示部に「AUX」が点灯し、外部機器を操作して再生することができます。



注意

- 外部機器の音量が大きく設定されていると、外部機器の接続時などに予想以上に大音量で再生される場合があります。外部機器の接続時などはあらかじめ外部機器の音量を適度に設定してください。
- 接続した外部機器によっては、ノイズが発生したり音が割れる場合があります。以下の操作を行ってください。
ノイズが発生する場合：
外部機器の音量を大きくしてください。
音が割れる場合：
外部機器の音量を小さくしてください。



アドバイス

- ステレオミニプラグを接続しないと、AUXボタンを押してもAUXモードになりません。
- AUX端子に接続するときは、φ3.5ステレオミニプラグを使用してください。
- 外部機器の操作方法については、お手持ちの外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

オーディオリモートコントロールスイッチ

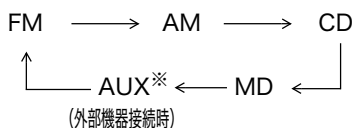
このスイッチはステアリングホイールの左側のスポークにあります。車を運転中にステアリングホイールから手を離さなくても、オーディオの操作ができます。

⚠ 注意

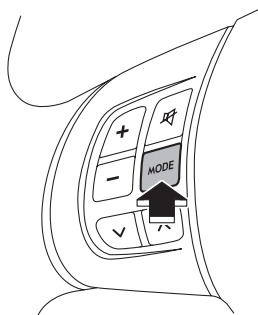
オーディオリモートコントロールスイッチと後席用オーディオコントロールスイッチを同時に操作しないでください。誤作動する場合があります。

MODE (モード) スイッチ

オーディオのモードを切り替えます。スイッチを押すごとに下記の順に切り替わります。



オーディオの表示部には選択したモードが表示されます。



400725

🏠 アドバイス

FMあるいはAMを選択したとき、最後に受信したバンドの周波数を表示します。

※ メーカーオプションのナビゲーション装着車で別売の外部入力端子が接続されている場合は、“AUX1” および “AUX2” と表示されます。

AUX1：ナビゲーションのAUX端子に接続されている場合に表示されます。

AUX2：車両のAUX端子に接続されている場合に表示されます。

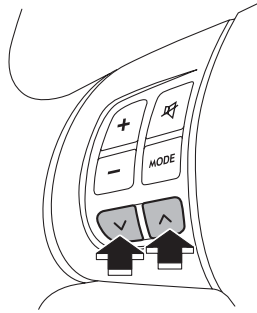
■「∧」 / 「∨」 スイッチ

●ラジオモード選択時

「∧」あるいは「∨」スイッチを押すと自動的に受信可能な放送局を探します。探し出すと自動的に止まります。
オーディオの表示部には、受信した放送局が表示されます。

●MDあるいはCD選択時

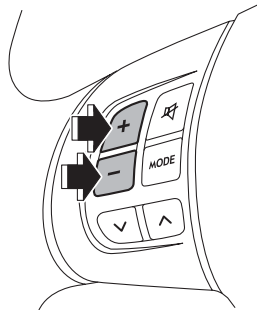
「∧」スイッチを押すと次の曲に飛び、「∨」スイッチを押すと現在の曲の先頭に飛び、再度スイッチを押すと前の曲に飛びます。
オーディオの表示部には、曲番号が表示されます。



400726

■ボリュームコントロールスイッチ

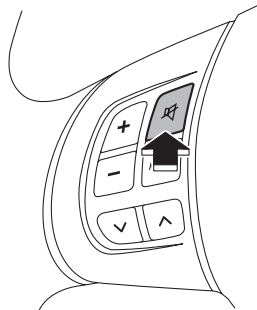
「+」スイッチを押すと音量が増大し、「-」スイッチを押すと音量が減少します。
スイッチを押し続けると音量は増減し続けます。
オーディオの表示部には、音量を示す数字が表示されます。



400727

■MUTE (ミュート) スイッチ

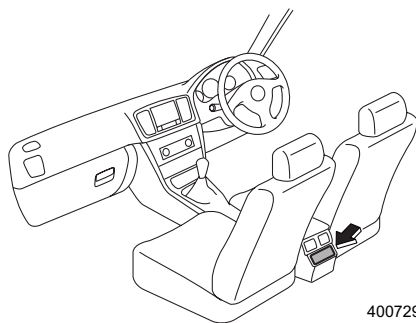
このスイッチを押すと音が消音します。
オーディオの表示部には、「MUTE」が表示されます。



400728

後席用オーディオコントロールスイッチ

このスイッチはセンターコンソールの背面にあります。後席同乗者も、オーディオの操作ができます。



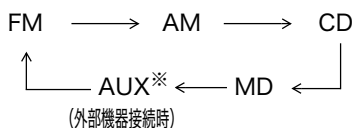
400729

注意

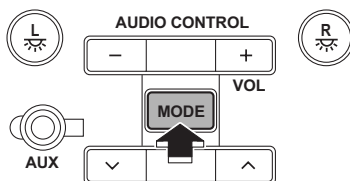
後席用オーディオコントロールスイッチとオーディオリモートコントロールスイッチを同時に操作しないでください。誤作動する場合があります。

MODE (モード) スイッチ

オーディオのモードを切り替えます。スイッチを押すごとに下記の順に切り替わります。



オーディオの表示部には選択したモードが表示されます。



400730

アドバイス

FMあるいはAMを選択したとき、最後に受信したバンドの周波数を表示します。

※メーカーオプションのナビゲーション装着車で別売の外部入力端子が接続されている場合は、“AUX1”および“AUX2”と表示されます。

AUX1：ナビゲーションのAUX端子に接続されている場合に表示されます。

AUX2：車両のAUX端子に接続されている場合に表示されます。

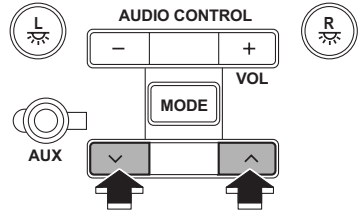
■「∧」 / 「∨」 スイッチ

●ラジオモード選択時

「∧」あるいは「∨」スイッチを押すと自動的に受信可能な放送局を探します。探し出すと自動的に止まります。
オーディオの表示部には、受信した放送局が表示されます。

●MDあるいはCD選択時

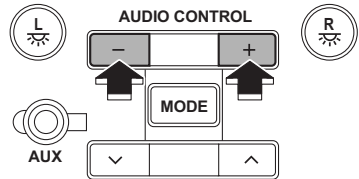
「∧」スイッチを押すと次の曲に飛び、「∨」スイッチを押すと現在の曲の先頭に飛び、再度スイッチを押すと前の曲に飛びます。
オーディオの表示部には、曲番号が表示されます。



400731

■ボリュームコントロールスイッチ

「+」スイッチを押すと音量が増大し、「-」スイッチを押すと音量が減少します。
スイッチを押し続けると音量は増減し続けます。
オーディオの表示部には、音量を示す数字が表示されます。

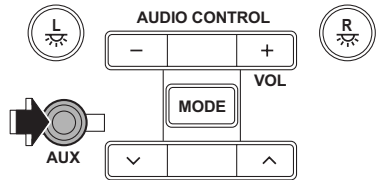


400732

■AUX端子

外部機器を接続するための入力端子です。
ポータブルオーディオプレイヤーなどを接続し、車のオーディオで再生することができます。

☆4-55、4-70ページ参照



400733



注意

- 外部機器の音量が大きき設定されていると、外部機器の接続時などに予想以上に大音量で再生される場合があります。外部機器の接続時などはあらかじめ外部機器の音量を適度に設定してください。
- 接続した外部機器によっては、ノイズが発生したり音が割れる場合があります。以下の操作を行ってください。

ノイズが発生する場合：

外部機器の音量を大きくしてください。

音が割れる場合：

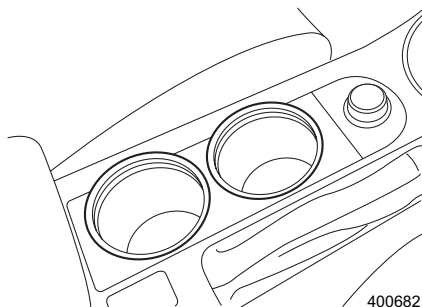
外部機器の音量を小さくしてください。

室内装備

カップホルダー

■前席用

センターコンソールにあります。



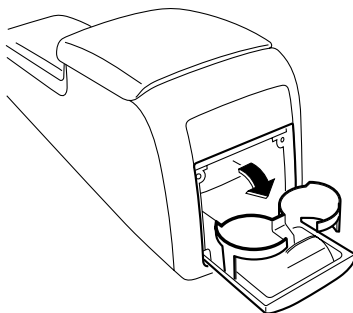
400682

■後席用

●センターコンソール

センターコンソール背面のフタを開けて使用します。

カップ、コーヒー缶などを置くことができます。



400805

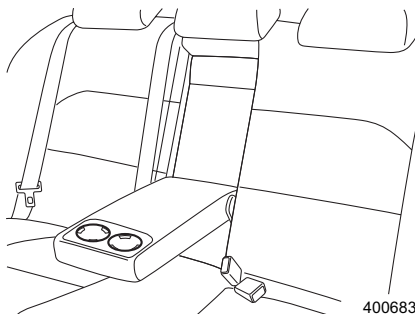


アドバイス

後席乗降時にはフタを閉めた状態にしてください。足で乗ったり、ぶつかけたりすると損傷の原因となります。

●アームレスト

アームレストを引き出して使用します。



警告

- シートベルトの効果を発揮させるため、次の手順を必ず守り、正しく装着してください。
 - ①シートベルトを装着する。
 - ②アームレストを下ろす。先にアームレストを下ろしてからシートベルトを着用すると、衝突時に腹部に当たり重大な傷害につながるおそれがあります。
- 飲み物の出し入れは信号待ちなどの停車中に行ってください。走行中の使用は思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物などはやけどのおそれがありますのでご注意ください。

注意

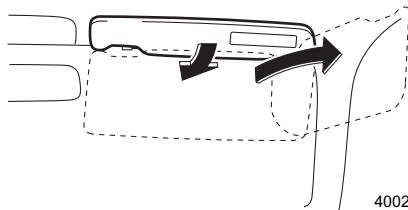
- 飲み物を置いているときは、リヤシートの背当てやアームレストスルーを倒さないでください。
- 上に乗ったり、重いものを乗せないでください。アームレストが損傷したり、思わぬけがをすることがあります。

サンバイザー

太陽光がまぶしいときにサンバイザーを降ろします。

横に回すときはフックから外して使用します。

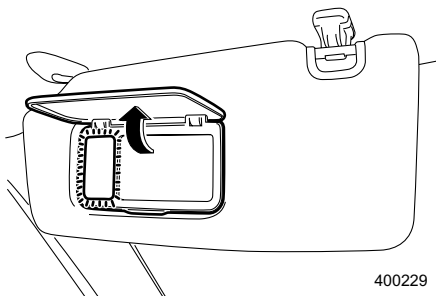
運転席側にはチケットホルダーが付いています。



400228

■ バニティミラー

運転席、助手席サンバイザー裏側に鏡がついています。フタを開けると照明が点灯します（エンジンスイッチがAccかONのとき）。必要のないときは、必ずフタを閉めてください。



400229



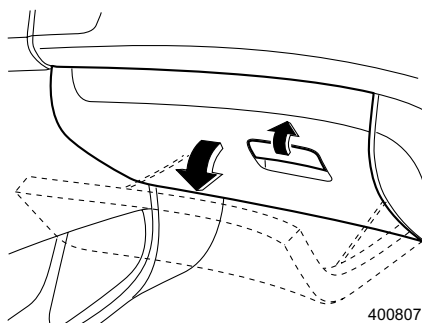
注意

走行中は必ずフタを閉めてください。

小物入れ

■グローブボックス

小物や書類を入れるのに使います。取っ手を引いて開けます。また、ライティングスイッチがONまたはOFFのとき開けると、照明灯がつきます。



●小物入れ

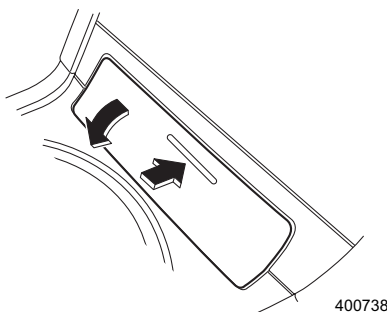
グローブボックス内に小物を入れる棚がついています。

⚠ 注意

走行中はグローブボックスを必ず閉めておいてください。万一の場合、開いたフタに体が当たるなどして思わぬけがをすることがあります。

■インストルメントパネル

フタの上部を押すと開きます。

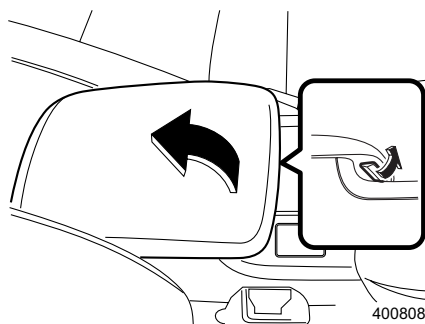


⚠ 注意


この小物入れを灰皿として使用しないでください。火災の原因になります。

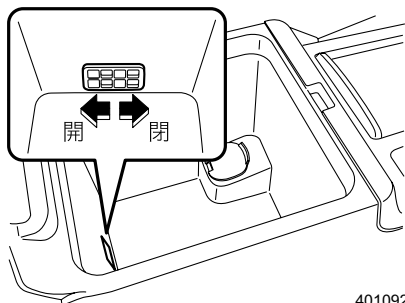
■コンソールボックス

ロックボタンを引いてフタを開けます。



●保温冷機能付きボックス

コンソールボックスにエアコンの風を利用した保温冷機能が備わっています。吹き出し口のモードが“”以外のとき、保温冷機能を使用することができます。保温冷機能を使用するときは、ボックス内中央下にあるシャッターをスライドさせて開けます。保温冷機能を使用しないときは、シャッターをスライドさせて閉めます。



⚠ 注意

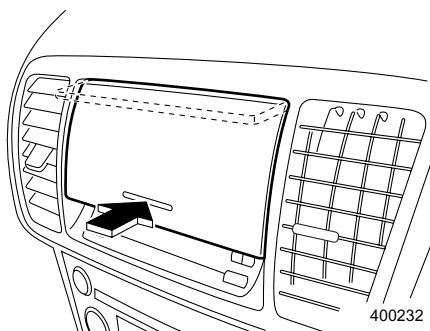
- 保温冷機能付きボックスは、エアコンの温度設定によってはボックス内が高温になる場合があります。また、夏場などエンジンを止めた室内は高温になります。ボックス内に破裂するものや溶けるものを入れないでください。
- ボックス内に開封後の飲み物を入れないでください。飲み物がこぼれると周辺機器の故障の原因となります。

🏠 アドバイス

- ボックス内の温度は、助手席側吹き出し口と同様になります。
 - 後席用吹き出し口を閉じると、保温冷機能の性能が上がります。
- ☆4-3ページ参照
- ボックス内に温度変化の影響を受ける食べ物（アイスやチョコレートなど）を入れないでください。

■ アッパーセンターポケット

フタの下部を押すと開きます。

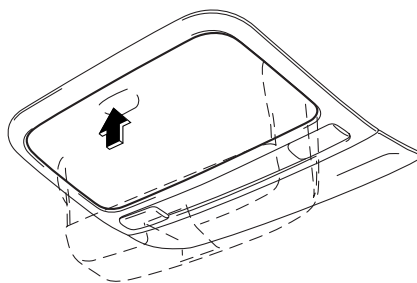


⚠ 注意

走行中は必ず閉めておいてください。
万一の場合、フタに体が当たったり、中に入れたものが飛びだして思わぬけがをするおそれがあります。
炎天下での駐車は大変高温になりますので、メガネやライターなどを収納しないでください。

■ オーバーヘッドコンソール

フタの後部を押すと開きます。

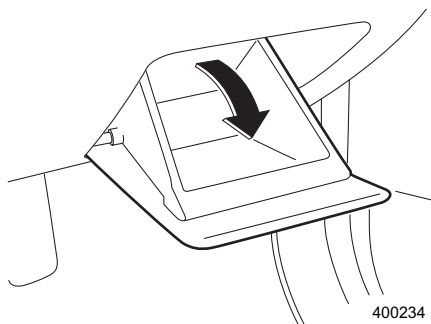


⚠ 注意

走行中は必ず閉めておいてください。万一の場合、フタに体が当たったり、中に入れたものが飛びだして思わぬけがをすることがあります。また、運転視界のじゃまになる場合があります。
また、炎天下での駐車は大変高温になりますので、メガネやライターなどを収納しないでください。

■コイントレイ

取っ手を引いて開けます。



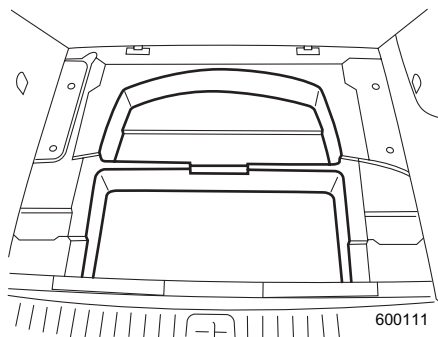
400234

サブトランク (ワゴン)

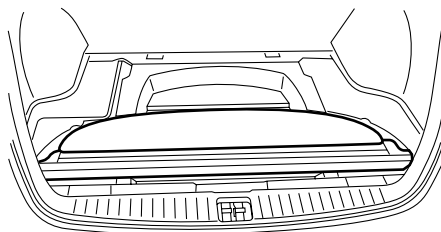
ラゲッジルームの床下に小さい荷物を収納することができます。三角停止表示板も収納できます。

トノカバーやリヤゲートボードを取り外したときはサブトランク内に収納できます。

☆4-85ページ参照



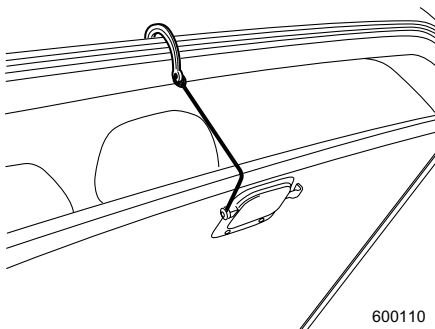
600111



400235

●サブトランクの使いかた

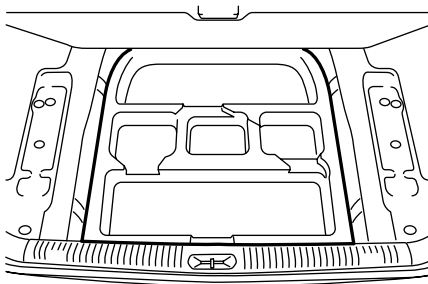
リッド（フタ）の取っ手を持って開けます。
リッド（フタ）の裏側にあるヒモ付のフックを、リヤゲート開口部上側に引っかけておくと、リッド（フタ）を開けたままにしておくことができます。



600110

サブトランク（セダン）

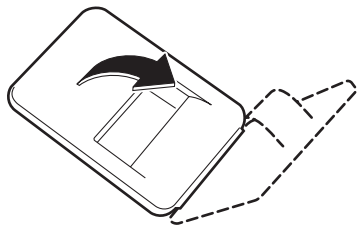
トランク床下に小さい荷物を収納することができます。三角停止表示板も収納できます。



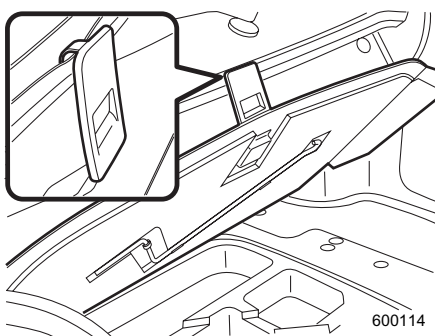
400815

●サブトランクの使いかた

リッド（フタ）の取っ手を持って開けます。
取っ手をトランク開口部上側に引っかけておくと、リッド（フタ）を開けたままにしておくことができます。



400236



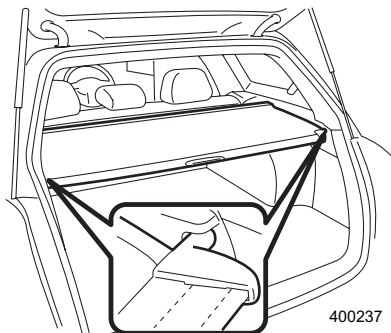
600114

トノカバー (ワゴン)※

●使用するときには

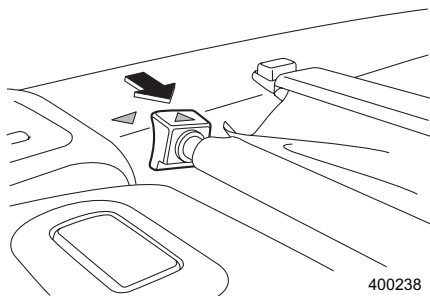
トノカバー中央部を持ち、ゆっくりとフックの手前まで引き、下げるようにして両側のフックに引っかけます。

戻すときは中央部を持ち、一度手前に引いたまま持ち上げるようにしてフックから外し、ゆっくりと巻き戻します。



400237

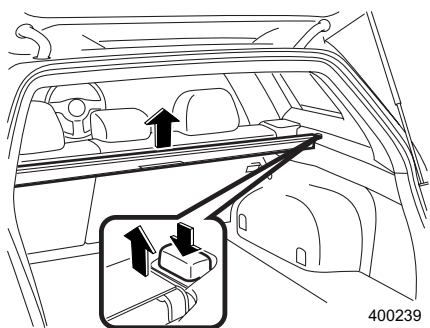
前側のトノカバー付車はリヤシート後部の両端に固定してください。



400238

●取り外すには

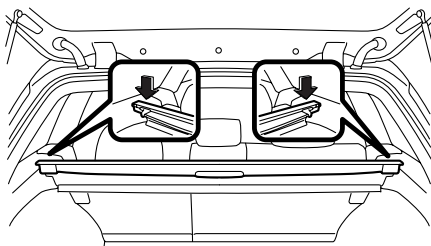
巻き戻した状態で運転席側のボタンを押し取り外します。取り外したトノカバーはサブトランクに収納することができます。



400239

●取り付けるには

助手席側の取付部からはめ込み、取り付けます。



400336

アドバイス

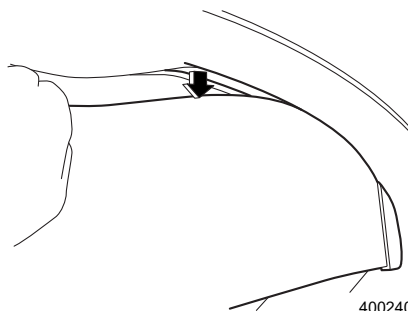
トノカバーの上に物を乗せないでください。
物が落下したり、トノカバーが損傷するおそれがあります。
リヤシートを後ろヘリクライニングしたときに、前側のトノカバーに当たり、位置がずれることがあります。

●リヤゲートボードの取り外し

リヤゲートに装着してあるリヤゲートボードは取り外すことができます。取り外したリヤゲートボードはサブトランクに収納することができます。

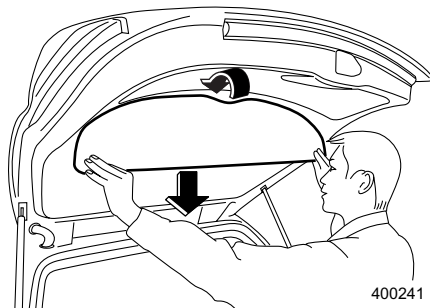
外しかた：

- ① リヤゲート中央部のはめ込み部分を外します。



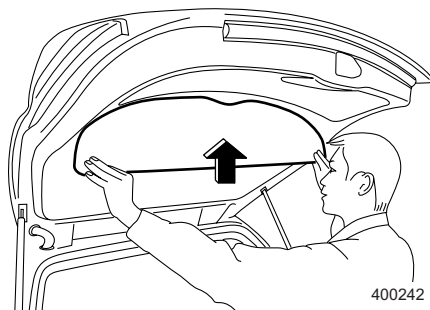
400240

- ② リヤゲートボードを前方へ回転させながら下に抜き、取り外します。

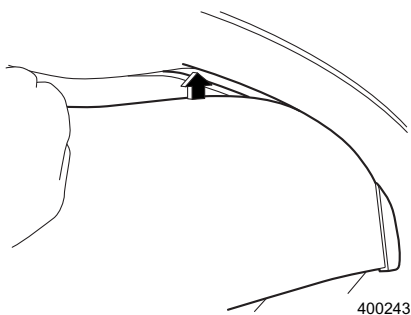


● リヤゲートボードの取り付け

- ① リヤゲートボード両端を取付部にはめ込みます。



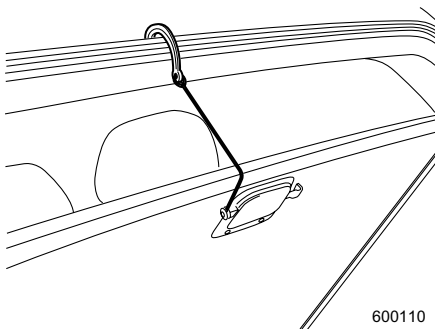
- ② リヤゲートボードの上部をリヤゲートの溝にはめ込みます。



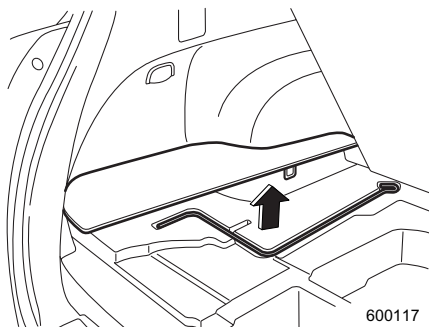
●トノカバー、リヤゲートボードを収納するには

- ① サブトランクのリッド（フタ）の取っ手を
持って開けます。

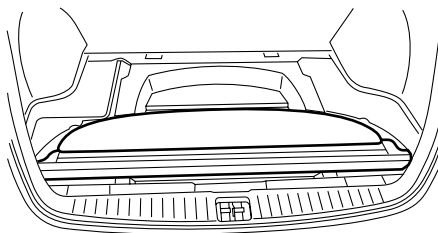
リッド（フタ）の裏側にあるヒモ付きのフックを、リヤゲート開口部上側に引っかけてリッド（フタ）を固定します。



- ② 左右のリッド（フタ）を取り外します。



- ③ トノカバー、リヤゲートボードを収納します。

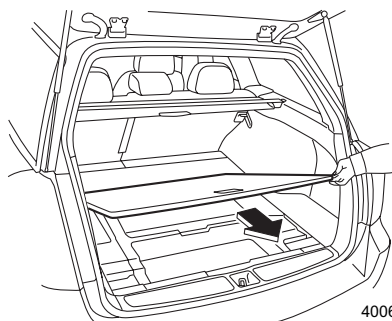


リヤマット

リヤマットの裏面には汚れを落としやすい加工がしており、汚れた物を乗せることができます。

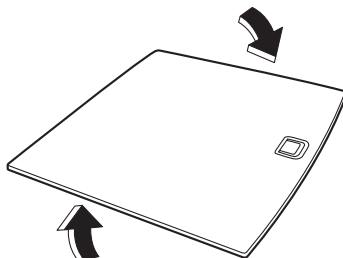
マットをカーゴルームから出しやすくするため、荷物を取り除いてください。

周囲に人や障害物がないことを確認し、マットを持ち上げカーゴルームから出します。



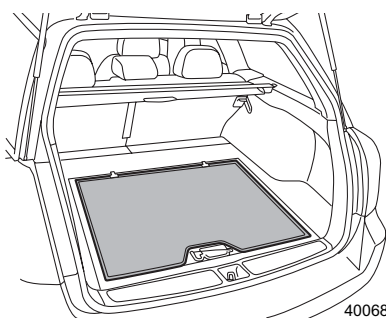
400684

マットを落とさないように注意しながら向きを裏返します。



400685

マットをカーゴルームに入れます。このとき、マットを元の位置に戻してください。



400686

⚠ 注意

マットの裏面の、取っ手またはフックの上に重いものを乗せないでください。また、荷物の出し入れのとき、フックや取っ手などで荷物に傷をつけないよう注意してください。



アドバイス

マットの範囲外に汚れた物を乗せないでください。

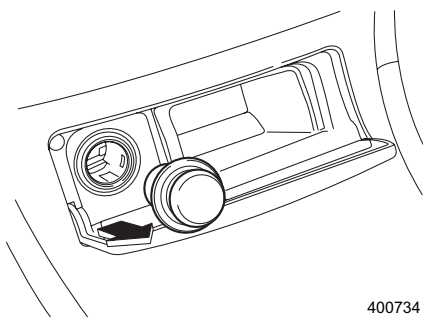
電源ソケット

エンジンスイッチがAccまたはONのとき12 V直流電流が取り出せます。
自動車用電気製品の電源ソケットとしてご使用ください。

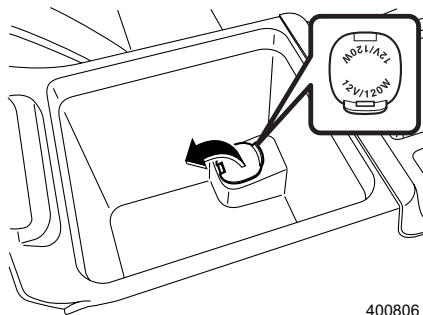
電源ソケットの位置

- インストルメントパネル小物入れ内
- センターコンソール内
- リヤコンソール（後席用オーディオコントロールスイッチ装着車）
- カーゴルーム左側（カーゴファン装着車）

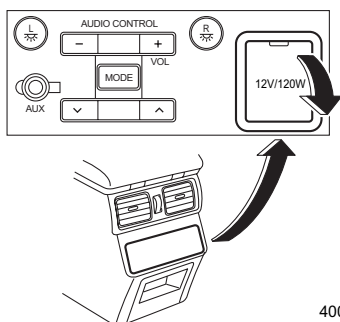
インストルメントパネル小物入れ内



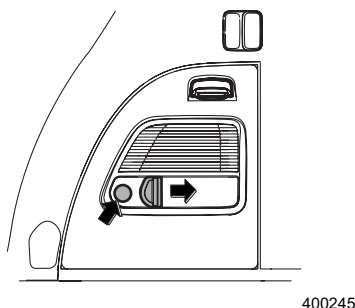
センターコンソール内



リヤコンソール（後席用オーディオコントロールスイッチ装着車）



カーゴルーム左側（カーゴルームファン装着車）



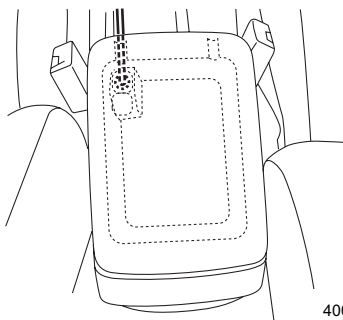
⚠ 注意

電源ソケットから電源を取るときは、スバル純正品の使用をお奨めします。また、自動車用電気製品は必ず 12 V-120 W 以下のものをご使用ください。また、ご使用の際、下記項目をお守りください。

- カーゴルームに電源ソケットを装着している車は、センターコンソール内とカーゴルーム左側のソケットを同時に使用する場合、自動車用電気製品の合計が120 W以下になるようにしてください。
- タコ足配線はしないでください。発火することがあります。
- 電源ソケットにシガレットライターを差し込まないでください。
- 銀紙、硬貨などの異物を入れないでください。
- 電源ソケットにプラグが合わない（ガタがあったり、きつくて入らない）場合は、接触不良や抜けなくなる原因となります。ソケットに合ったプラグをご使用ください。
- エンジン停止状態またはアイドル状態のまま電気製品を長時間使用すると、バッテリー上がりを起こすことがありますのでご注意ください。また、走行中の使用でも不要になったら切るように心がけてください。

🏠 アドバイス

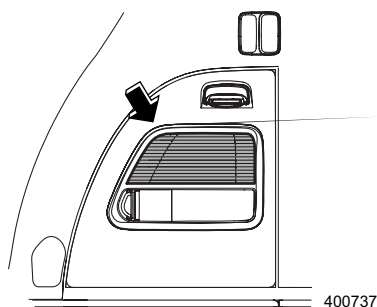
電源コードを引き廻す際は、コンソール前側の凹部から引き出してください。



400736

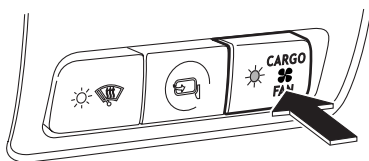
カーゴファン (ワゴン)

カーゴルームに釣り具、ペットなどを積み込んだ場合のにおいなどを排出し換気を促進します。カーゴルーム左側についています。



■使いかた

- ① エアコンを作動させ、マニュアル操作で外気導入にします。風の強さは好みの強さにしてください。
- ② カーゴファンスイッチを押して作動させます。作動中はスイッチのインジケーターが点灯します。



- ③ さらに、トノカバーを併用しますと一層効果が上がります。

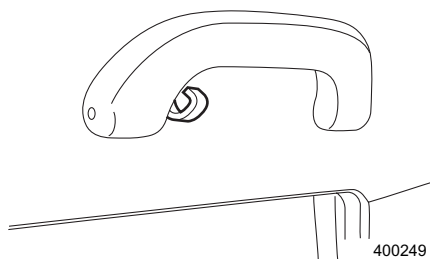
注意

内気循環は必要なときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

また、長時間内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

コートフック

運転席側のリヤシートのアシストグリップにはコートフックがあります。



警告

SRSカーテンエアバッグ装着車は、コートフックにハンガーや鋭利なものをかけないでください。SRSカーテンエアバッグが作動したときにこれらの物が飛び、重大な傷害につながるおそれがあります。服をかけるときはハンガーを使わず、服をそのままコートフックにかけてください。

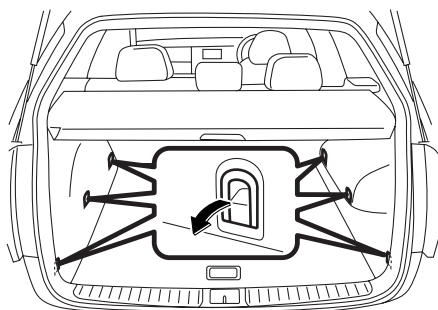
注意

重いものや大きなものをフックにかけないでください。フックが折れたり、走行中に外れたりすることがあります。

許容荷重	5 kg
------	------

カーゴフック (ワゴン)

カーゴルームに6か所取り付けられています。
カーゴルームネットなどを引っかけるときに
使用します。



400250

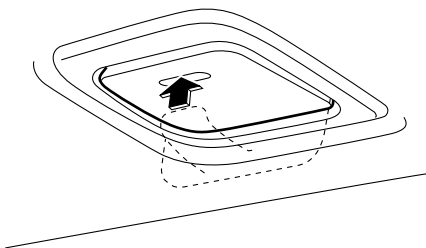
⚠ 注意

カーゴフックを使うとき
このフックはカーゴルームネットなど軽量物の固定、引っかけの用途だけに
限定してください。

許容引張り荷重	20 kg
---------	-------

ハンガーフック (ワゴン)

ハンガーなどをかけるときに使用します。
カーゴルーム左右の天井付近に付いていま
す。
フック表面を押すと使用できます。
使用しないときは格納してください。



400251

⚠ 注意

ハンガーフックは服など軽量物の引っかけの用途だけに限定してください。

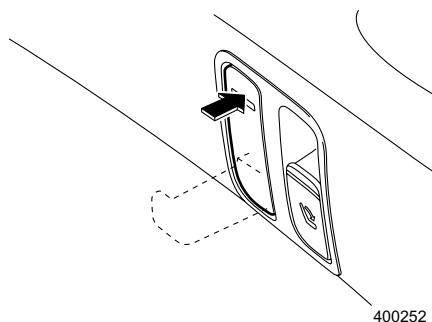
許容引張り荷重	5 kg
---------	------

買い物フック

買い物袋などが転がらないようにするときに使用します。
 使用しないときは格納しておいてください。
 袋の底を床につけ、手さげ部分をフックに巻きつけて使ってください。

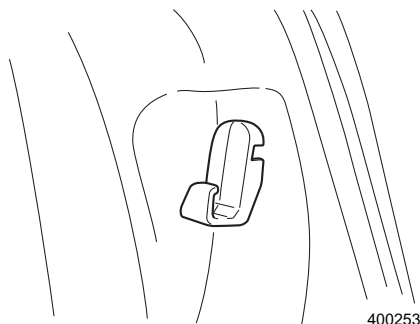
ワゴン：

カーゴルーム左右の内張りに付いています。



セダン：

トランクルーム左右の内張りに付いています。



注意

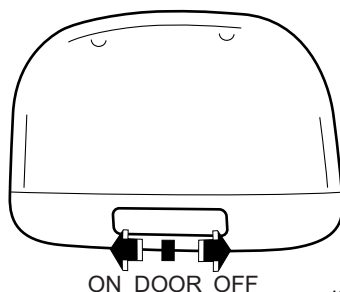
買い物フックは、買い物袋など軽量物の引っかけの用途だけに限定してください。

許容引張り荷重	5 kg
---------	------

室内の照明

■ ルームランプ

- 車内の天井中央（後席上部）にあります。
スイッチの位置により切り替えができます。
- ON : 常に点灯します。
DOOR : ドアを開けると点灯し、閉めると一定時間点灯後消灯します。
OFF : 常に消灯します。



400970

● オフディレイ機能

スイッチをDOOR位置にしているときに、下記操作を行うと一旦点灯し、徐々に消灯していきます。(オフディレイ機能)

- エンジンスイッチをONからOFFにしたとき（キーレスアクセス装着車）
- エンジンスイッチをAccから1またはLOCKへ操作したとき
- ドアを開けて閉めたとき
- キーレスエントリー（電波式リモコンドアロック、および暗証コード式キーレスエントリー）で解錠したとき
- 車両に近づいたとき（キーレスアクセス装着車）

また、下記操作を行うと消灯します。

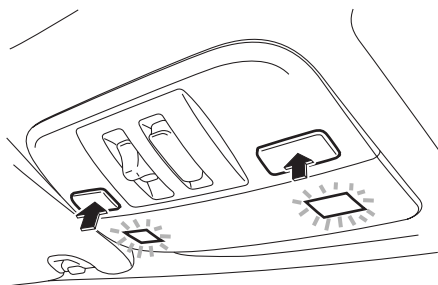
- エンジンスイッチをAccまたはONにしたとき
- キーレスエントリー（キーレスアクセス機能、電波式リモコンキー）で施錠したとき

この機能は、スバル販売店にて消灯する時間を設定できます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。また、メーカーオプションのナビゲーション装着車は画面上で同様の設定ができます。詳しくはナビゲーション取扱説明書をご覧ください。

■前席用スポットマップランプ

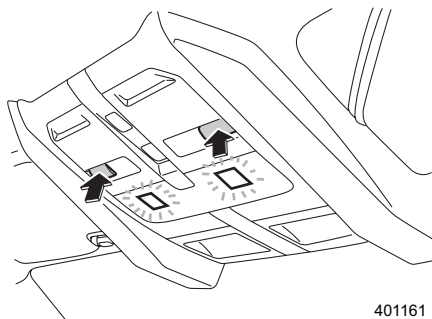
右側のスイッチを押すと右側のランプが点灯します。もう一度押すと消灯します。
左側も同じように使います。
夜間、車を止めて地図を見るときなどに便利です。

<タイプA>



400255

<タイプB>



401161

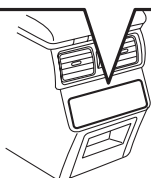
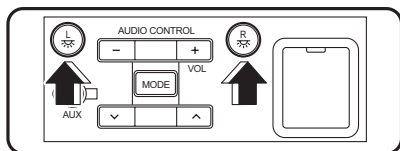


アドバイス

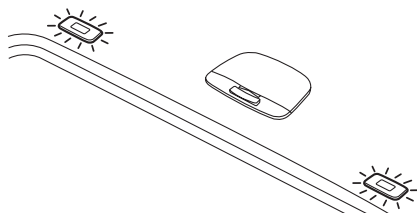
- 車から離れるときには消灯していることを確認してください。点灯しているとバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間点灯したままにしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

■後席用スポットマップランプ

エンジンスイッチがAccまたはONのときに使用できます。
右側のスイッチを押すと右側のランプが点灯します。もう一度押すと消灯します。
左側も同じように使います。
夜間、車を止めて地図を見るときなどに便利です。



400688



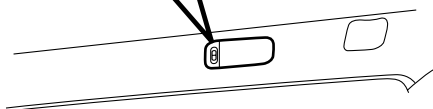
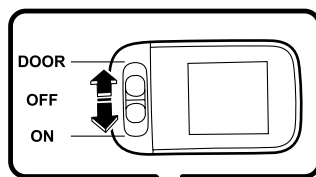
400689

🏠 アドバイス

- 車から離れるときには消灯していることを確認してください。点灯しているとバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間点灯したままにしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

■カーゴルームランプ（ワゴン）

ON : 常に点灯します。
OFF（中立）：常に消灯します。
DOOR : リヤゲートを開けると点灯し、
閉めると消灯します。



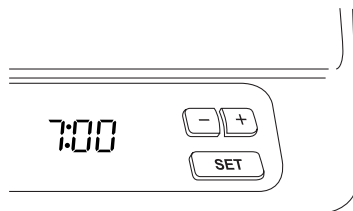
400971

🏠 アドバイス

- 車から離れるときには消灯していることを確認してください。点灯しているとバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間点灯したままにしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

時計

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、時刻が表示されます。



400816

●時刻表示の合わせかた

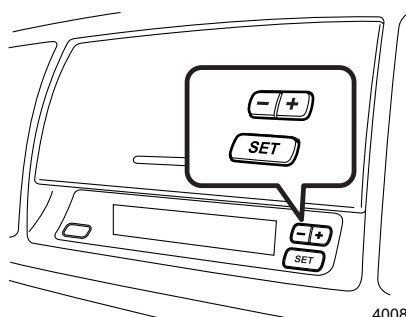
「+」ボタンまたは「-」ボタンを押すと、1分ごみで時刻が切り替わります。また、ボタンを押し続けると連続的に切り替わります。

●時報合わせ

時報と同時に「SET」ボタンを押します。

(例) 1:01~1:29の場合……1:00

1:30~1:59の場合……2:00



400813

室内装備品の使いかた

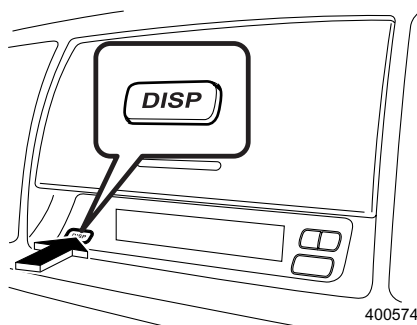
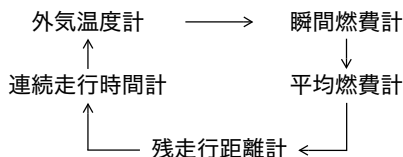


アドバイス

バッテリーの接続を外すと時刻が消去されます。バッテリーを接続後、正しい時刻に修正してください。

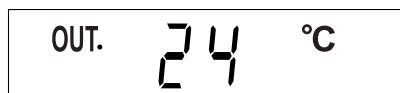
インフォメーションメーター

エンジンスイッチがONのとき「DISP」ボタンを押すごとに以下の表示に切り替わります。



■ 外気温度計

外気温度を表示します。
表示範囲は-30°C~50°Cです。



400260

● 路面凍結警告表示

外気温度が3°C以下になった場合、路面が凍結している可能性があることを知らせるため、温度表示が点滅します。

他の表示をしている場合は外気温度計表示に切り替わり、5秒間点滅した後元の表示に戻ります。

外気温が3°C以下の状態でエンジンスイッチをONにした場合、温度表示は点滅しません。



400261

**アドバイス**

- 外気温度計は外気センサー取付部の温度を表示していますので、実際の外気温度とは異なる場合があります。
- 路面凍結警告表示は目安です。必ず路面状態を確認してください。

■ 瞬間燃費計

走行している瞬間の燃費を表示します。
低速走行時は表示されません。

10.5 km/L

400262

■ 平均燃費計

トリップメーターをリセットしてからの平均燃費を表示します。

トリップノブを押すごとに、トリップ A、B の平均燃費を表示します。

トリップ A、B をリセットすると平均燃費計もリセットされます。

リセット後は 1 km 走行するまで表示されません。

A 10.3^{AVG.} km/L

400263

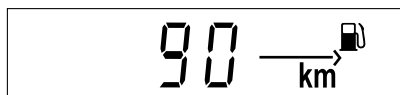
**アドバイス**

走行状態や状況により燃費は変化するため、燃費情報は目安となります。そのため、表示が実際とは異なる場合があります。

■ 残走行距離計

燃料タンク内の燃料量と過去30 km間の燃費を計算してタンク内の燃料での走行可能距離を10 km単位で表示します。

燃料残量警告灯が点灯すると、他の表示をしていても残走行距離計に切り替わり、残走行距離数が5秒間点滅します。

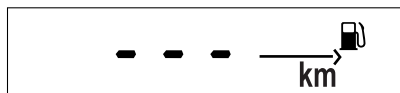


400972

アドバイス

残走行距離計算用の燃費値は過去30 km間の燃費を基に行っているため、瞬間燃費、平均燃費の値とは必ずしも一致しません。

燃料が残りわずかになりますと、表示をストップします。



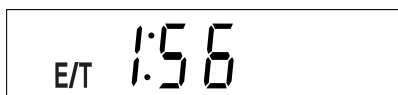
300836

アドバイス

残走行距離はあくまでも目安です。走行状態や状況により燃費が変化するため、表示が実際とは異なる場合があります。燃料の補給は早めに行ってください。

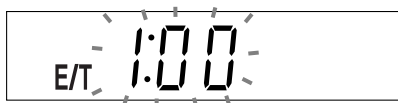
■連続走行時間計

エンジン始動時からの時間を表示します。



400266

1時間ごとに連続走行時間計が点滅します。
他の表示をしている場合は連続走行時間計に
切り替わり5秒間点滅し元の表示に戻ります。



400267



アドバイス

- エンジンスイッチがLOCKにならない限り時間はリセットされません。エンジンスイッチOFFまたはAccからONにした場合、今までの走行時間から時間を計ります。
- エンジンスイッチが LOCK 位置またはエンジン始動するとリセットされます。
LOCKに戻さずAccからONにすると先程までの走行時間を表示します。

MEMO

Empty memo box for notes.